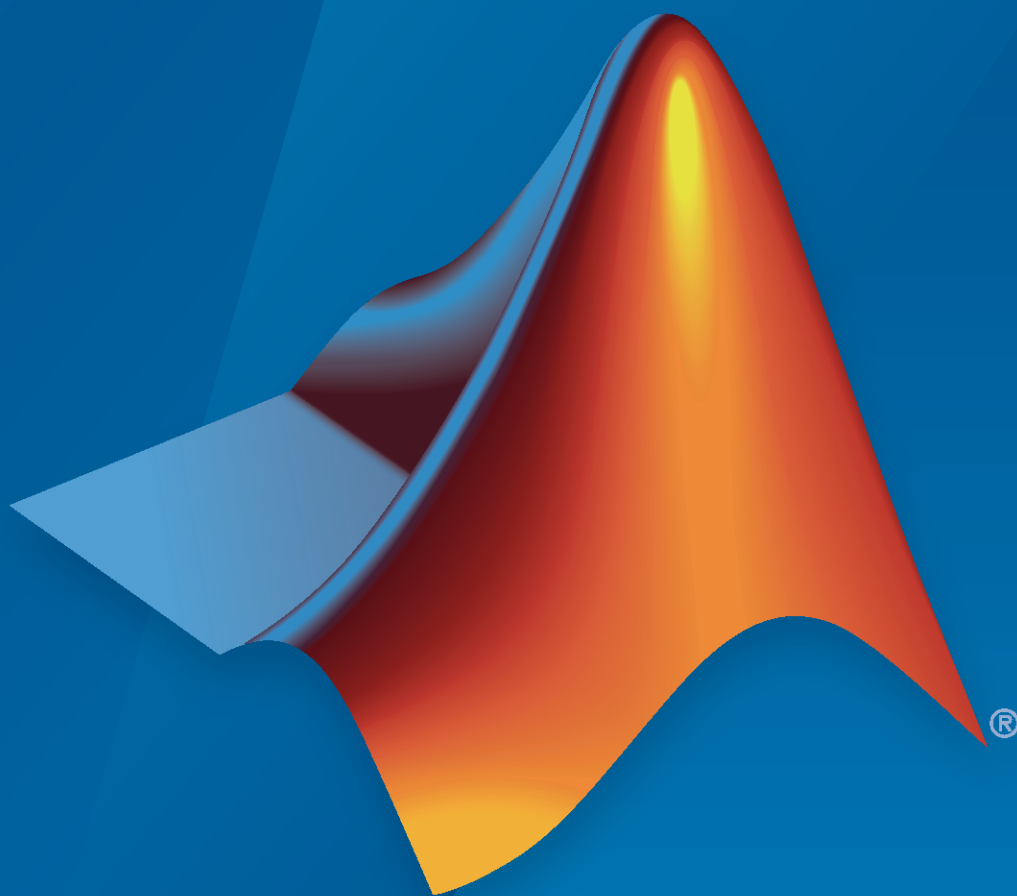


インストールおよびライセンス
インストールのヘルプ



MATLAB® & SIMULINK®

R2025b



MathWorks へのお問い合わせ



最新情報: www.mathworks.com
営業およびサービス: www.mathworks.com/sales_and_services
ユーザー コミュニティ: www.mathworks.com/matlabcentral
テクニカル サポート: www.mathworks.com/support/contact_us



代表番号: 03-6367-6700



The MathWorks GK
〒107-0052 東京都港区赤坂 4 丁目 15-1
赤坂ガーデンシティ 7F

MathWorks インストールのヘルプ

© COPYRIGHT 1996-2025 by The MathWorks, Inc.

The software described in this document is furnished under a license agreement. The software may be used or copied only under the terms of the license agreement. No part of this manual may be photocopied or reproduced in any form without prior written consent from The MathWorks, Inc.

FEDERAL ACQUISITION: This provision applies to all acquisitions of the Program and Documentation by, for, or through the federal government of the United States. By accepting delivery of the Program or Documentation, the government hereby agrees that this software or documentation qualifies as commercial computer software or commercial computer software documentation as such terms are used or defined in FAR 12.212, DFARS Part 227.72, and DFARS 252.227-7014. Accordingly, the terms and conditions of this Agreement and only those rights specified in this Agreement, shall pertain to and govern the use, modification, reproduction, release, performance, display, and disclosure of the Program and Documentation by the federal government (or other entity acquiring for or through the federal government) and shall supersede any conflicting contractual terms or conditions. If this License fails to meet the government's needs or is inconsistent in any respect with federal procurement law, the government agrees to return the Program and Documentation, unused, to The MathWorks, Inc.

商標

MATLAB and Simulink are registered trademarks of The MathWorks, Inc. See www.mathworks.com/trademarks for a list of additional trademarks. Other product or brand names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

特許

MathWorks products are protected by one or more U.S. patents. Please see www.mathworks.com/patents for more information.

改訂履歴

2020 年 3 月	PDF のみ	MATLAB 9.8 新版 (Release 2020a)
2020 年 9 月	PDF のみ	MATLAB 9.9 改訂版 (Release 2020b)
2021 年 3 月	PDF のみ	MATLAB 9.10 改訂版 (Release 2021a)
2021 年 9 月	PDF のみ	MATLAB 9.11 改訂版 (Release 2021b)
2022 年 3 月	PDF のみ	MATLAB 9.12 改訂版 (Release 2022a)
2022 年 9 月	PDF のみ	MATLAB 9.13 改訂版 (Release 2022b)
2023 年 3 月	PDF のみ	MATLAB 9.14 改訂版 (Release 2023a)
2023 年 9 月	PDF のみ	Version 23.2 改訂版 (R2023b)
2024 年 3 月	PDF のみ	Version 24.1 改訂版 (R2024a)
2024 年 9 月	PDF のみ	Version 24.2 改訂版 (R2024b)
2025 年 3 月	PDF のみ	Version 25.1 改訂版 (R2025a)
2025 年 9 月	オンラインのみ	Version 25.2 再リリース版 (R2025b)

MathWorks 製品をインストールするためのセキュリティ上の考慮事項	1-2
安全な場所を使用	1-2
可能な場合は権限を制限	1-2
インストール プロセスを監視	1-2
MATLAB のダウンロードとインストール	1-3
インストールする前に	1-3
MATLAB のインストール	1-3
インストールに関する一般的な問題のトラブルシューティング	1-5
インストールを後で行う場合の製品のダウンロード	1-7
始める前に	1-7
手順 1. インストーラーと製品ファイルのダウンロード	1-8
手順 2. 保存先フォルダーの選択	1-8
手順 3. プラットフォームの選択	1-8
手順 4. 製品の選択	1-9
手順 5. 選択内容の確認とダウンロード	1-9
手順 6. インストーラー ファイルと製品ファイルの移動（オプション）...	1-9
次のステップ	1-10
オフライン コンピューターへの製品のインストール	1-11
始める前に	1-11
手順 1. ライセンス ファイルとインストール キーの入手	1-11
手順 2. インストーラーの起動	1-12
手順 3. ライセンス許諾への同意	1-14
手順 4. ファイル インストール キーの入力	1-14
手順 5. ライセンス ファイルの選択	1-14
手順 6. 保存先フォルダーの選択	1-15
手順 7. 製品の選択	1-15
手順 8. オプションの選択	1-15
手順 9. 選択内容の確認とインストール	1-16
MATLAB インストール製品へのツールボックスと製品の追加	1-17
ドキュメンテーションのインストール	1-18
一時的にオフラインで使用するためのドキュメンテーションのインストール ...	1-19
ドキュメンテーションのダウンロードとインストール（インターネット接続が 必要）	1-19
Web ドキュメンテーションへの復帰	1-19
永続的にオフラインのコンピューターへのドキュメンテーションのインストール	1-21
前提条件	1-21

ドキュメンテーションのダウンロード（インターネット接続が必要）	1-21
オフライン コンピューターへのドキュメンテーションのコピー	1-22
オフライン コンピューターへのドキュメンテーションのインストール	1-22
インストールしたドキュメンテーションを使用するための MATLAB の構成	1-23
ローカル インストールの検証	1-23
オフライン コンピューター上のドキュメンテーションの更新	1-23
プログラムによるサポート パッケージのインストール	1-24
MATLAB パッケージ マネージャーの入手	1-24
入力ファイルを使用したインストールの構成	1-24
サポート パッケージのインストール	1-25
オフライン コンピューターへのサポート パッケージのインストール	1-26
MATLAB パッケージ マネージャーの入手（インターネット接続が必要）	1-26
入力ファイルを使用したダウンロードの構成（インターネット接続が必要）	1-26
サポート パッケージのダウンロード（インターネット接続が必要）	1-27
オフライン コンピューターへのダウンロード済みサポート パッケージのコピー	1-27
オフライン コンピューターへのサポート パッケージのインストール	1-27
既存のオフライン インストールへのサポート パッケージの追加	1-28
MATLAB サーバー製品のインストール	1-30
MATLAB Parallel Server	1-30
MATLAB Production Server	1-30
MATLAB Web App Server	1-30
MATLAB Online Server	1-30
MathWorks サービス ホストとは	1-31
インストールおよびアップデート	1-31
セキュリティ上の考慮事項	1-31

ネットワーク ライセンスでの製品のインストール

2

ネットワーク ライセンス マネージャーのインストールと構成の計画	2-2
ネットワーク ライセンス マネージャーのインストール手順	2-2
MATLAB のインストール手順	2-2
ネットワーク ライセンス ファイルの更新または変更	2-4
ネットワーク ライセンスについて	2-4
ネットワーク ライセンス ファイルの内容	2-4
ライセンスの処理	2-5
MATLAB ライセンスの検索パス	2-5
ネットワーク ライセンス ファイルの更新	2-6
プログラムによる製品のインストール	2-9
前提条件	2-9
インストーラーと製品のダウンロード	2-9
インストーラー プロパティ ファイルの作成	2-10
プロパティ ファイルを使用したインストーラーの実行	2-11

インストールおよびアクティベーションのログ ファイルの表示	2-11
エンド ユーザーによる製品のインストール	2-12
ライセンス要件	2-12
手順の選択	2-12
オプション #1: MathWorks アカウントにネットワーク ライセンスをリンクする	2-13
オプション #2: ライセンス ファイルとファイル インストール キーを使用してインストールする	2-13
手動による MATLAB インストールのアクティベーション	2-14
アクティベーションの概要	2-14
手順 1. アクティベーション アプリの起動	2-14
手順 2. ライセンスのアクティベーション	2-15
この後は	2-15

3 ネットワーク ライセンス マネージャーのインストール

ネットワーク ライセンス マネージャーのオフライン インストール	3-2
手順 1. ライセンス ファイルのダウンロード	3-2
手順 2. インストーラーのダウンロード	3-2
手順 3. インストーラーの起動	3-3
手順 4. ソフトウェア ライセンス 許諾書の確認	3-3
手順 5. ライセンス ファイルの選択	3-3
手順 6. 保存先フォルダーの選択	3-3
手順 7. オプションの選択 (Windows システムのみ)	3-4
手順 8. 選択内容の確認とインストール	3-4
インターネット接続を使用したネットワーク ライセンス マネージャーのインストール	3-5
手順 1. ライセンス ファイルのダウンロード	3-5
手順 2. 製品インストーラーのダウンロードと起動	3-5
手順 3. ソフトウェア ライセンス 許諾書の確認	3-6
手順 4. ライセンス ファイルの選択	3-6
手順 5. 保存先フォルダーの選択	3-6
手順 6. オプションの選択 (Windows システムのみ)	3-7
手順 7. 選択内容の確認とインストール	3-7
ネットワーク ライセンス マネージャー ソフトウェアの更新	3-8
最新のライセンス マネージャー ソフトウェアのダウンロード	3-8
ライセンス マネージャーの停止	3-8
既存のライセンス マネージャーのバイナリの置き換え	3-8
ライセンス マネージャーの再起動	3-9

MathWorks 製品のインストール

この章では、MathWorks® 製品のインストール方法について説明します。

MathWorks 製品をインストールするためのセキュリティ上の考慮事項

MathWorks ダウンロードから入手可能なインストーラーを使用して MATLAB および他の MathWorks 製品をインストールするには、次のセキュリティ上の考慮事項に注意してください。

安全な場所を使用

インストーラーを実行する際は、権限を持つユーザーだけが書き込み可能な安全な場所で実行するようにします。\\tmp や C:\\Windows\\Temp などの誰でも書き込み可能なディレクトリの使用を避け、無断変更や悪用のリスクを軽減します。

可能な場合は権限を制限

必要最小限の権限でインストーラーを実行します。インストール プロセスで必要な場合を除き、管理アカウントの使用は避けます。これを実践することで、悪意のある利用により引き起こされる影響を最小限に抑えます。

インストール プロセスを監視

インストール プロセス中は警戒を怠らないようにします。インストールに管理者権限が必要な場合は、提供元が信頼できることを確認し、実行されるアクションを必ず把握しておいてください。

参考

関連する例

- ・ 「MATLAB のダウンロードとインストール」 (p. 1-3)
- ・ 「オフライン コンピューターへの製品のインストール」 (p. 1-11)
- ・ 「MathWorks サービス ホストとは」

MATLAB のダウンロードとインストール

対話型 MATLAB インストーラーをダウンロードして実行すると、Windows、Linux、または macOS のパーソナル コンピューターに、MATLAB、Simulink、および付属のツールボックスとブロックセットをインストールできます。

インストールする前に

MATLAB をインストールする前に、次の点に注意してください。

- ・ MATLAB インストーラーをダウンロードするには、MathWorks アカウントが必要です。
 - ・ 組織を通じて MATLAB ライセンスを保有している場合は、アカウントの作成時またはアカウントへのサインイン時に、組織の電子メール アドレスを使用します。
 - ・ MathWorks ストアから直接ライセンスを購入したか評価版を取得した場合は、ライセンスの購入に使用したアカウントにサインインします。
- ・ コンピューターは、ご使用のプラットフォームの MATLAB システム要件を満たしている必要があります。
 - ・ Windows の MATLAB システム要件
 - ・ Linux の MATLAB システム要件
 - ・ Mac の MATLAB システム要件

MATLAB のインストール

MATLAB をインストールするには、MathWorks ダウンロードから、ご使用のプラットフォームおよび MATLAB リリース用のインストーラーをダウンロードする必要があります。その後、インストーラーを実行し、指示に従ってインストールを完了します。

セキュリティ上の考慮事項 製品をインストールする際には、安全な場所を使用し、可能な場合は権限を制限し、インストールを監視します。詳細については、「MathWorks 製品をインストールするためのセキュリティ上の考慮事項」を参照してください。

次の表に、プラットフォームごとの詳細なインストール手順を示します。

プラットフォーム	手順
Windows	Windows 上に MATLAB をインストールするには、次を行います。 1 MathWorks ダウンロードから、MATLAB リリースを選択し、インストーラーをダウンロードします。 2 ダウンロードしたインストーラーをダブルクリックし、指示に従ってインストールを完了します。 既定のインストール フォルダー: C:\Program Files\MATLAB\R20XXy インストールの完了後に MATLAB を起動するには、「Windows プラットフォームでの MATLAB の起動」を参照してください。
Linux	Linux 上に MATLAB をインストールするには、次を行います。 1 MathWorks ダウンロードから、MATLAB リリースを選択し、インストーラーをダウンロードします。 2 ダウンロードしたインストーラー ファイルを解凍し、解凍したフォルダーに移動します。たとえば、次のコマンドを使用して、リリース R2025b のインストーラーを同じ名前のフォルダーに解凍し、そのフォルダーに移動します。 <pre>unzip matlab_R2025b_Linux.zip -d ./matlab_R2025b_Linux cd ./matlab_R2025b_Linux</pre> 3 インストール フォルダーで install スクリプトを実行し、指示に従ってインストールを完了します。 <pre>xhost +SI:localuser:root sudo -H ./install xhost -SI:localuser:root</pre> sudo は、書き込み権限を持たないフォルダーに製品をインストールする場合にのみ必要です。該当するフォルダーには、既定のインストール フォルダーが含まれることがあります。xhost コマンドは、sudo を使用してルート ユーザーとして製品をインストールする場合にのみ必要です。これらのコマンドは、インストーラーの実行に必要なグラフィカル表示へのルート ユーザー アクセス権を一時的に付与します。 既定のインストール フォルダー: /usr/local/MATLAB/R20XXy インストールの完了後に MATLAB を起動するには、「Linux プラットフォームでの MATLAB の起動」を参照してください。

プラットフォーム	手順
macOS	macOS 上に MATLAB をインストールするには、次を行います。 1 MathWorks ダウンロードから、MATLAB リリースを選択し、インストーラーをダウンロードします。 2 ダウンロードした DMG ファイルを解凍してダブルクリックし、バーチャル ディスクとしてインストーラーをマウントします。 3 インストーラーをダブルクリックし、指示に従ってインストールを完了します。 4 (macOS Apple シリコンのみ) Mac に Java ランタイムをインストールします。互換性のあるランタイムを入手するには、MATLAB on Apple Silicon Macs を参照してください。 既定のインストール フォルダ: /Applications/MATLAB_R20XXy.app インストールの完了後に MATLAB を起動するには、「macOS プラットフォームでの MATLAB の起動」を参照してください。

ライセンスを所有している追加のリソースにアクセスするには、matlab.mathworks.com にアクセスして MathWorks アカウントにサインインします。リソースには MATLAB Online (Web ブラウザーから MATLAB にアクセス) およびオンライン トレーニング (自己学習形式の対話型コース) が含まれます。

インストールに関する一般的な問題のトラブルシューティング

MATLAB 製品のインストールで問題が生じた場合は、インストール プロセス時に生じる可能性がある以下の一般的な問題を確認してください。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。ヘルプ要求では、問題に関連したエラー メッセージ、ログ ファイル、またはスクリーンショットを提供してください。

インターネット接続の問題

インストール中にインターネット接続が失われた場合は、インストーラーを再実行してください。接続の問題が解決しない場合は、[Why do I get a connection error when installing or activating MATLAB or other MathWorks products?](#) を参照してください。

tmp フォルダの容量が不足している

インストール時に、MathWorks インストーラーはご使用のプラットフォームの tmp フォルダにファイルを一時的に保存します。tmp フォルダの容量不足でインストールを完了できないというエラーが発生した場合は、インストーラーがこれらのファイルを保存する場所を変更できます。[How can I change the temp directory the MATLAB installer uses?](#) を参照してください。

ライセンスの問題

インストール時に、選択したいライセンスがリストされないことがあります。または、アクティベーション キーを入力するように求められ、ライセンスを選択するオプションがない場合もあります。

- MathWorks アカウントが会社や大学などの組織に関連付けられている場合は、組織の IT 部門に問い合わせ、インストールの完了に必要なライセンス情報を取得してください。
- MathWorks アカウントが組織に関連付けられていない場合は、MathWorks ストアから新しいライセンスを購入するか、評価版を取得しなければならないことがあります。

MATLAB が起動しない

インストール後に MATLAB が起動しない場合は、ご使用のプラットフォームについて MATLAB Answers でリストされている考えられる解決策に従ってください。

- ・ Why will MATLAB not start up properly on my Windows based system?
- ・ Why will MATLAB not start up properly on my Linux machine?
- ・ Why will MATLAB not start up properly on macOS?

インストールを後で行う場合の製品のダウンロード

すぐにインストールを実行せずに（同じコンピューターまたは別のコンピューターのいずれでも）、製品をダウンロードします。この手順は、後で 1 台以上のコンピューターに MathWorks 製品をインストールする場合に便利です。インストール先のコンピューターは、インターネットに接続されていても、オフラインでもかまいません。MathWorks アカウントにリンクされたライセンス（評価版ライセンスも含む）を所有していなければなりません。

インストーラーと製品をダウンロードした後は、ダウンロードした場所からいつでも MathWorks 製品をインストールできます。ファイル インストール キーを使用する場合は、ダウンロードした製品ファイルがインストーラー ファイルを含み、ネットワーク接続のないコンピューターからアクセスできる場所にあることを確認します。

メモ インストーラーと製品ファイルをダウンロードするには、インターネットに接続されたコンピューターを使用する必要があります。

始める前に

MathWorks アカウント

製品インストーラーをダウンロードするには、MathWorks アカウント、またはアカウントへのアクセス権が必要です。インディビジュアル ライセンスを保有している場合は、購入時に MathWorks アカウントが作成されています。

MathWorks アカウントを保有していない場合は、状況に応じて次の手順のいずれかを選択します。

状況	アクション
大学のライセンスを使用しています。	所属教育機関のポータルにアクセスしてインストールします。
会社の（ネットワーク）ライセンスを使用しています。	MathWorks アカウントの作成後、「手順 1. インストーラーと製品ファイルのダウンロード」に進むことができます。 管理者がインストーラーと製品ファイルをダウンロードした場合は、それらにアクセスできる保存先を調べてから、「永続的にオフラインのコンピューターへのドキュメンテーションのインストール」に移動します。
会社のエンタープライズ ライセンスを使用しています。	ライセンス管理者にお問い合わせください。
製品ライセンスまたは評価版がありません。	MathWorks ストアに移動してください。

オフライン システムが要件を満たしていることの確認

オフライン マシンに製品をインストールする場合は、オフライン システムが MATLAB のシステム要件を満たしていることを確認してください。

ダウンロード中の接続に関する問題のトラブルシューティング

ダウンロード中にインターネット接続が失われた場合は、再度ダウンロードする必要があります。接続の問題が解決しない場合は、より信頼性の高いインターネット接続を構成する（ルーターの近くに移動するか、イーサネット ケーブルを使用する）か、マシンを変更することを検討してください。

インターネット接続問題の診断に関するその他のヒントについては、この MATLAB Answers の投稿を参照してください。

手順 1. インストーラーと製品ファイルのダウンロード

MathWorks アカウントにサインインします。2 段階認証を有効にしている場合（MathWorks アカウントで）は、主な方法に送信された認証コードを入力します。

- 1 MathWorks のダウンロード ページで、リリース、およびダウンロードに使用するコンピューター（ターゲット コンピューターではありません）のプラットフォームを選択します。
- 2 インストーラーを起動します。アプリによる変更を許可するかどうかを尋ねるプロンプトが表示されたら、[はい] と回答します。
- 3 再びプロンプトが表示された場合は、MathWorks アカウントにサインインして、MathWorks ライセンス許諾書に同意します。
- 4 インストーラーで、[詳細オプション]、[インストールせずにダウンロードする] を選択します。

手順 2. 保存先フォルダーの選択

インストーラーと製品ファイルのダウンロード先にするフォルダーへのパスを入力します。

フォルダー名を指定するときには、次の条件があります。

- ・ 任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。
- ・ 英語以外の文字は使用できません。
- ・ フォルダー名に無効な文字を含めることはできません。また、保存先の名前を “private” にすることはできません。

保存先フォルダーは絶対パスでなければなりません。

手順 3. プラットフォームの選択

MATLAB をインストールするコンピューターのプラットフォームを選択します。複数のプラットフォームを選択できますが、すべてのプラットフォームが同じ最上位フォルダーにダウンロードされることに注意してください。

Linux 用 Windows または macOS でのダウンロード Linux にインストールするために Windows でインストーラーをダウンロードした場合は、ターゲット マシンにインストールする前に、ファイルを ZIP アーカイブなどのファイルに圧縮せずに、マシンに転送する必要があります。そうしないと、ZIP アーカイブの解凍後にエラーが発生します。これは、圧縮前に作成されたシンボリック リンクの確実な再作成が Windows ではできないためです。詳細と解決策については、この MATLAB Answers の投稿を参照してください。

手順 4. 製品の選択

[製品選択] リストに、リンクされたすべてのライセンスについて、使用可能なすべての製品が表示されます。

- ・ 特定の製品をターゲット コンピューターにインストールできるようにするには、名前の横のチェックボックスをオンにします。MATLAB は既定で選択されています。
- ・ 特定の製品をターゲット コンピューターにインストールしない場合は、名前の横のチェック ボックスをオフにします。
- ・ 選択した製品のいずれかが、選択していない製品に依存する場合、製品の依存関係に関する警告が表示され、依存する製品を追加するように求められます。

依存する製品はオプションであり、追加するか、追加しないかを選択できます。しかし、依存する製品なしでも選択した製品をインストールできますが、必要な機能の一部にアクセスできない場合があります。

- ・ 必須の製品はインストールしなければなりません。

ソフトウェアをインストールするときにインストール可能な製品は、ライセンスで許可されているものによって決まります。

手順 5. 選択内容の確認とダウンロード

- 1 ダウンロードの選択内容のまとめを確認します。設定を変更するには、ナビゲーション バーのトピックをクリックします。ダウンロードを実行するには、[ダウンロードの開始] をクリックします。
- 2 ダウンロードが完了したら、[閉じる] をクリックします。

手順 6. インストーラー ファイルと製品ファイルの移動（オプション）

ターゲット マシンがオフライン マシンの場合は、製品ファイル（インストーラー ファイルを含む）をターゲット コンピューターまたはアクセス可能な場所（USB ドライブ、ネットワーク共有など）にコピーします。

製品ファイルが格納されているフォルダーに、以下が含まれていることを確認します。

- ・ フォルダーのルートに、ターゲット プラットフォーム向けのインストーラー ファイル：
 - ・ Windows- setup.exe
 - ・ Linux-install

ルート アカウントを使用してインストーラーを実行する予定がある場合は、MATLAB Answers の次の投稿を参照してください。Why can't I install MATLAB with the root account in Linux?

- ・ macOS (Intel プロセッサ)-InstallForMacOSIntelProcessor
- ・ macOS (Apple シリコン)-InstallforMacOSAppleSilicon
- ・ アーカイブ サブフォルダー

アーカイブ サブフォルダー内のファイルが 3 個未満である場合は、必要なファイルが不足している可能性があるため、再びファイルをダウンロードしなければなりません。

次のステップ

実行する手順は、ターゲット コンピューターにインターネット接続があるかどうかによって決まります。

- ・ インターネット接続がある場合: 「MATLAB のダウンロードとインストール」 (p. 1-3) の手順を使用します。
- ・ オフラインの場合: 「オフライン コンピューターへの製品のインストール」 (p. 1-11) の手順を使用します。

参考

関連する例

- ・ 「オフライン コンピューターへの製品のインストール」 (p. 1-11)

オフライン コンピューターへの製品のインストール

この手順は、インターネット接続のないコンピューターに MathWorks 製品をインストールする場合に使用します。

このワークフローの準備として、以下のアイテムを入手する必要があります。

- ・ ファイル インストール キーとライセンス ファイル。「手順 1. ライセンス ファイルとインストール キーの入手」を参照してください。
- ・ 「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」 (p. 1-7) の手順を使用して入手した、製品インストーラーと製品ファイル。インストール ファイルは、必ずライセンス ファイルおよびファイルインストール キーとともにターゲット コンピューターに移動してください。

Linux または macOS 用インストーラーの Windows でのダウンロード Linux または macOS にインストールするために Windows にインストーラーをダウンロードした場合、ターゲット マシンにインストールするときに、UNIX® インストーラーに含まれているシンボリック リンクの確実な再作成が Windows® ではできないため、エラーが発生します。詳細と解決策については、この MATLAB Answers の投稿を参照してください。

MathWorks ソフトウェアのインストールに適した権限がなければなりません。権限に関する質問は、システム管理者にお問い合わせください。

始める前に

インストール プロセス中の問題を回避するために、始める前に以下の重要事項をお読みください。

システムが要件を満たしていることの確認

始める前に、MATLAB のシステム要件を確認してください。

インストール用の tmp ディレクトリの変更

インストール用の tmp フォルダを変更するには、MATLAB® Answers の [How can I change the temp directory the MATLAB installer uses?](#) を参照してください。

接続エラー

オフライン ワークフローでのインストーラーの実行中に接続エラーが発生した場合、最も考えられる原因は、ファイル インストール キーを使用して MathWorks 製品をインストールするために必要なすべてのインストール ファイルが揃っていないことです。インターネットに接続されたコンピューターを使用して、「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」 (p. 1-7) に移動し、ワークフローを最初からやり直してください。

手順 1. ライセンス ファイルとインストール キーの入手

- ・ インディビジュアル ライセンスのユーザーは、ライセンス ファイルとファイル インストール キー (FIK) をライセンス センターから入手できます。

インターネット接続のあるコンピューターを使用して、次を行います。

- 1 MathWorks アカウントにサインインし、使用するライセンスをクリックします。

- 2 [インストールとアクティベーション] タブに移動します。このライセンスに対してまだコンピュータのアクティベーションを実行していない場合は、[アクティベーションの実行] をクリックしてライセンスのアクティベーションを実行し、ライセンス ファイルをダウンロードして、ファイル インストール キーを入手します。

既にライセンスのアクティベーションを実行済みで、ファイル インストール キーがある場合は、代わりに [ライセンス ファイルを取得] にあるダウンロード矢印または電子メール アイコンをクリックできます。

- 3 これらのアイテムをダウンロードして USB メモリなどのリムーバブル メディアに保存します。
 - 4 ライセンス ファイルとファイル インストール キーをターゲット コンピューターにコピーします。
- ・ ネットワーク ライセンス ユーザーは、ライセンスまたはネットワーク管理者からネットワーク ライセンス ファイルと FIK を入手し、自分のマシンにコピーできます。
 - ・ 管理者は、ネットワーク ライセンス マネージャーをホストしているサーバーからネットワーク ライセンス ファイルのコピーを、ライセンス センターからファイル インストール キー (FIK) を入手できます (ダウンロードしたライセンス ファイルを FIK とともにユーザーに渡さないでください)。
 - ・ 評価版ライセンスを使用している場合は、<https://www.mathworks.com/licensecenter/trials> にアクセスします。

手順 2. インストーラーの起動

このセクションに示すように、ターゲット マシンのプラットフォーム固有の手順を使用してインストーラーを起動します。アプリによる変更を許可するかどうかを尋ねるプロンプトが表示されたら、[はい] と回答します。

セキュリティ上の考慮事項 製品をインストールする際には、安全な場所を使用し、可能な場合は権限を制限し、インストールを監視します。詳細については、「MathWorks 製品をインストールするためのセキュリティ上の考慮事項」を参照してください。

Windows

Windows システムの既定のインストール ディレクトリは次のとおりです。

C:\Program Files\MATLAB\R2025b

Windows システムでインストーラーを起動するには、次を行います。

- 1 setup.exe ファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動します。
- 2 アプリケーションによる変更を許可するかどうかを尋ねられたら、[はい] と回答します。
- 3 インターネット アクセスにプロキシ サーバーを使用するようにコンピューターが構成されている場合は、ユーザー名とパスワードを入力して標準インストールを続行します。プロキシ サーバーの資格情報については、システム管理者にお問い合わせください。

Linux

Linux® システムの既定のインストール ディレクトリは次のとおりです。

/usr/local/MATLAB/R2025b

メモ MathWorks 製品は、書き込み権限のあるディレクトリにインストールする必要があります。既定のディレクトリにインストールする場合を除き、インストーラーの実行にルート権限は必要ありません。

次の手順に従って、Linux にインストールします。

- 1 システム ターミナルで、次のように入力して、matlab_R2025b_Linux.zip インストーラー アーカイブを matlab_R2025b_Linux ディレクトリに解凍します。

```
unzip matlab_R2025b_Linux.zip -d matlab_R2025b_Linux
```

- 2 matlab_R2025b_Linux ディレクトリに移動します。

- ・ インストーラーを起動し、書き込み権限のあるディレクトリにインストールするには、次を実行します。

```
./install
```

インストーラーによってプロンプトが表示されたら、インストール先のフォルダーを指定します。

- ・ インストーラーをルートとして起動するには、次を実行します。

```
sudo ./install
```

インストーラーがルートとして起動できない場合、インストールに必要なグラフィカル ユーザー インターフェイスにインストーラーがアクセスできない可能性があります。次の回避方法を試してください。

```
xhost +SI:localuser:root
sudo -H ./install
xhost -SI:localuser:root
```

これにより、ルート ユーザーは実行中の X サーバーにアクセスできるようになり、インストーラーが起動されます。その後、ルート ユーザーは削除され、X サーバーにアクセスできなくなります。

macOS (Intel プロセッサ)

macOS Intel® プロセッサ システムの既定のインストール ディレクトリは次のとおりです。

/Applications/MATLAB_R2025b.app

macOS Intel プロセッサ システムにインストールするには、次を行います。

- 1 matlab_R2025b_macOSIntelProcessor.dmg.zip ファイルをダブルクリックして、ディスク イメージを解凍します。
- 2 matlab_R2025b_macOSIntelProcessor.dmg ディスク イメージ ファイルをダブルクリックして、バーチャル ディスクをマウントします。
- 3 バーチャル ディスク内の InstallForMacOSIntelProcessor インストーラー ファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動します。
- 4 インターネット アクセスにプロキシ サーバーを使用するようにコンピューターが構成されている場合は、ユーザー名とパスワードを入力して標準インストールを続行します。プロキシ サーバーの資格情報については、システム管理者にお問い合わせください。

macOS (Apple シリコン)

macOS Apple シリコン システムの既定のインストール ディレクトリは次のとおりです。

/Applications/MATLAB_R2025b.app

macOS Apple シリコン システムにインストールするには、次を行います。

- 1 matlab_R2025b_macOSAppleSilicon.dmg.zip ファイルをダブルクリックして、ディスク イメージを解凍します。
- 2 matlab_R2025b_macOSAppleSilicon.dmg ディスク イメージ ファイルをダブルクリックして、バーチャル ディスクをマウントします。
- 3 バーチャル ディスク内の InstallForMacOSAppleSilicon インストーラー ファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動します。
- 4 インターネット アクセスにプロキシ サーバーを使用するようにコンピューターが構成されている場合は、ユーザー名とパスワードを入力して標準インストールを続行します。プロキシ サーバーの資格情報については、システム管理者にお問い合わせください。

ネイティブ Apple シリコンの MATLAB の場合、Java® ランタイムが Mac にインストールされている必要があります。互換性のある Java ランタイムを入手するには、MATLAB on Apple Silicon Macs を参照してください。

手順 3. ライセンス許諾への同意

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認します。ライセンス許諾書の条件に同意しない場合、MathWorks 製品をインストールすることはできません。

手順 4. ファイル インストール キーの入力

ファイル インストール キーの入力を求められたら、入力します。

- ・ インストーラーによって製品ファイルが見つからなかった場合、ファイル インストール キーの入力前にエラーが表示されます。このメッセージには、必要なファイルをダウンロードする手順が含まれます。
- ・ キーが無効であるというメッセージが表示されたら、正しくキーを入力したことを確認してください。必要な場合は、新しいファイル インストール キーを入手してください。
- ・ インストールしようとしているリリースについてキーが無効であるというメッセージが表示されたら、管理者に問い合わせるか、ライセンス センターにアクセスして、保有しているファイル インストール キーに対応するファイル入手します。評価版ライセンスを使用している場合は、<https://www.mathworks.com/licensecenter/trials> にアクセスします。

手順 5. ライセンス ファイルの選択

ファイル インストール キーを使用する場合、インストールにはライセンス ファイルが必要です。それによって、実行できる製品が特定されます。

- ・ ファイルは有効なライセンス ファイルでなければなりません。
- ・ インストーラーによって、何らかの理由でライセンス ファイルが無効であると検出された場合、別のライセンス ファイルを使用するか、新しいライセンス ファイルを入手してください。

手順 6. 保存先フォルダーの選択

保存先フォルダーは、MathWorks 製品をインストールする場所です。既定のインストール フォルダーをそのまま使用するか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

保存先フォルダーは絶対パスでなければなりません。MathWorks では、MathWorks 製品をユーザー各自のフォルダーにインストールすることを推奨しています。ドライブの最上位を選択した場合、選択内容を確認するように求められます。

フォルダー名を指定するときには、次の条件があります。

- ・ 任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。
- ・ 英語以外の文字は使用できません。
- ・ フォルダー名に無効な文字を含めることはできません。また、保存先の名前を “private” にすることはできません。

フォルダー名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定値に戻す] をクリックします。

インストール用の tmp ディレクトリの変更 インストール用の tmp フォルダーを変更するには、MATLAB Answers の [How can I change the temp directory the MATLAB installer uses?](#) を参照してください。

手順 7. 製品の選択

[製品選択] リストに、指定したファイル インストール キーに関連付けられているすべての製品が表示されます。

- ・ 特定の製品をインストールするには、名前の横のチェック ボックスをオンにします。MATLAB は既定で選択されています。
- ・ インストール対象外の製品がある場合は、製品名の横のチェック ボックスをオフにします。
- ・ 選択した製品のいずれかが、選択していない製品に依存する場合、製品の依存関係に関する警告が表示され、依存する製品を追加するように求められます。

依存する製品はオプションであり、追加するか、追加しないかを選択できます。しかし、依存する製品なしでも選択した製品をインストールできますが、必要な機能の一部にアクセスできない場合があります。

- ・ 必須の製品はインストールしなければなりません。

手順 8. オプションの選択

一部のオプションは、特定のライセンス タイプでのみ利用可能です。オプションが提示されない場合、次の手順に進むことができます。

- ・ Windows – [スタート] メニューとデスクトップに、MATLAB を起動するためのショートカットを配置できます。
- ・ Linux – matlab スクリプトおよび mex スクリプトへのシンボリック リンクを作成するかどうかを指定できます。書き込み権限があり、このコンピューターのユーザー パスすべてに共通する /usr/local/bin などのフォルダーを指定します。

手順 9. 選択内容の確認とインストール

インストールの選択内容のまとめを確認します。設定を変更するには、ナビゲーション バーのトピックをクリックします。インストールを続行するには、[インストールの開始] をクリックします。

インストールが完了したら、構成を完了するために必要な追加の手順が表示されるかどうかを確認し、[終了] をクリックします。追加の手順が必要な場合は、MATLAB を実行する前に完了しておきます。

サーバー製品をインストールする場合は、「MATLAB サーバー製品のインストール」を参照してください。

ライセンス管理者またはシステム管理者のみ 回復不能なエラーが発生する場合や、組織内のライセンスの混在について複雑な問題がある場合は、代わりに ISO のダウンロードを実行することを検討してください。How do I download a MATLAB ISO archive? を参照してください。

参考

関連する例

- ・ 「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」 (p. 1-7)
- ・ 「永続的にオフラインのコンピューターへのドキュメンテーションのインストール」

MATLAB インストール製品へのツールボックスと製品の追加

MathWorks ソフトウェアの拡張方法に応じて、追加の製品を購入してインストールしたり、既にライセンスを保有している製品の機能を拡張したりできます。

- ・ 追加の製品とツールボックス – 追加の製品には、MATLAB および Simulink® と併用できる機能が含まれています。

既に保有するライセンスに追加して製品を購入する場合は、インストーラーを再実行して、既存のインストール製品にそれらの製品を追加します。この手順は、元の製品を初めてインストールしたときの手順とまったく同じです。

- ・ 単独のインストール製品 – 「MATLAB のダウンロードとインストール」または「オフライン コンピューターへの製品のインストール」の手順を参照してください。
- ・ 複数のインストール製品 – 管理者が「クライアント マシンへの製品のインストール」から手順を選択します。
- ・ アドオン – アドオンは、特定のタスクやアプリケーションに、ハードウェア デバイスへの接続、追加アルゴリズムおよび対話型アプリなどの追加の機能を提供することで、MATLAB の機能を拡張します。

詳細については、「アドオン」を参照してください。

- ・ MATLAB Copilot – MATLAB Copilot は MATLAB に生成 AI 機能を提供します。他の MathWorks 製品と異なり、MATLAB Copilot 用にダウンロードおよびインストールするツールボックスやアプリはありません。代わりに、MathWorks アカウントを通じて、ライセンスを付与されたユーザーとして MATLAB Copilot へのアクセスを取得します。詳細については、を参照してください。

参考

関連する例

- ・ 「製品のインストール」

ドキュメンテーションのインストール

既定では、MATLAB を使用しているときに、Web 上の製品ドキュメンテーションにアクセスします。これにより、インストールのフットプリントが削減されます。

コンピューターが一時的または永続的にインターネットに接続されていないときにドキュメンテーションを使用するために、マシンにドキュメンテーションをインストールできます。

- ・ ドキュメンテーション インストーラーは、ドキュメンテーションのインストールに使用している MATLAB のリリースに合わせて、マシンにインストールされている各製品のドキュメンテーションをインストールします。同じマシンに MATLAB の複数のリリースが存在する場合は、それらの MATLAB の各バージョンのインストール手順を実行します。
- ・ コンピューター指定ライセンスまたはネットワーク ライセンスを使用して MATLAB をインストールした場合は、ドキュメンテーションを 1 回だけインストールして、そのライセンスでマシンを使用するすべてのユーザーがドキュメンテーションを使用できるように設定できます。
- ・ ドキュメンテーションに必要なディスク容量は、インストールするドキュメンテーション セットの数によって異なります。完全なドキュメンテーション セットには 10 GB より大きいディスク容量が必要です。

開始する準備ができれば、次の表から手順を選択します。

シナリオ	ワークフロー
通常、MATLAB を使用するときにはマシンがインターネットに接続されていますが、場合によってはオフラインで作業することがあります。	「一時的にオフラインで使用するためのドキュメンテーションのインストール」
マシンは永続的にオフラインです。	「永続的にオフラインのコンピューターへのドキュメンテーションのインストール」

参考

関連する例

- ・ 「MATLAB のダウンロードとインストール」
- ・ 「オフライン コンピューターへの製品のインストール」
- ・ 「プログラムによる製品のインストール」

一時的にオフラインで使用するためのドキュメンテーションのインストール

MATLAB を使用しているとき、既定では、Web 上の製品ドキュメンテーションにアクセスします。ドキュメンテーションへのオフライン アクセスが必要な場合は、コンピューターがインターネットに接続されているときにドキュメンテーションをダウンロードしてインストールし、その後、コンピューターが一時的にオフラインのときに、ローカルにインストールしたドキュメンテーションにアクセスすることができます。

使用しているコンピューターが永続的にオフラインの場合は、「永続的にオフラインのコンピューターへのドキュメンテーションのインストール」をご覧ください。

ドキュメンテーションのダウンロードとインストール（インターネット接続が必要）

ドキュメンテーションをダウンロードおよびインストールするには、次の手順に従います。

- 1 MATLAB を開きます。
- 2 [ホーム] タブの [環境] セクションで [設定] をクリックします。
代わりに、[基本設定] をクリックします。
- 3 [設定] ダイアログ ボックスの左側のペインで、[MATLAB]、[ヘルプ] の順にクリックします。
- 4 [ドキュメンテーションの場所] で [ローカル] を選択します。
- 5 [ドキュメンテーションのインストール] をクリックします。

MATLAB により、ドキュメンテーションがサポート パッケージのルート フォルダにインストールされます。サポート パッケージのルートを見つけるには、関数 `matlabshared.supportpkg.getSupportPackageRoot` を使用します。

- 6 MATLAB を再起動します。
- 7 MATLAB がローカルにインストールされたドキュメンテーションを開くことを検証します。MATLAB コマンド プロンプトで、「doc」と入力します。

開いたドキュメンテーションのホーム ページで、URL がローカル IP アドレスとポート番号（例：`http://127.0.0.1:12345`）を指す場合、MATLAB はローカルにインストールされたドキュメンテーションにアクセスしています。

製品の追加後または削除後にインストール済みのドキュメンテーションを更新したり、最新のドキュメンテーションをインストールしたりするには、この手順を繰り返します。

Web ドキュメンテーションへの復帰

元のように Web からドキュメンテーションを開くようにするには、次の手順に従います。

- 1 MATLAB を開きます。
- 2 [ホーム] タブの [環境] セクションで [設定] をクリックします。
代わりに、[基本設定] をクリックします。
- 3 [設定] ダイアログ ボックスの左側のペインで、[MATLAB]、[ヘルプ] の順にクリックします。

- 4 [ドキュメンテーションの場所] で [Web (mathworks.com)] を選択します。
- 5 MATLAB を再起動します。
- 6 MATLAB が Web ドキュメンテーションを開くことを検証します。MATLAB コマンド プロンプトで、「doc」と入力します。

開いたドキュメンテーションのホーム ページで、URL が Web アドレス (例: <https://www.mathworks.com/help/...>) を指す場合、MATLAB は Web ドキュメンテーションにアクセスしています。

参考

関連する例

- ・ 「永続的にオフラインのコンピューターへのドキュメンテーションのインストール」
- ・ 「MATLAB のダウンロードとインストール」

永続的にオフラインのコンピューターへのドキュメンテーションのインストール

MATLAB を使用しているとき、既定では、Web 上の製品ドキュメンテーションにアクセスします。永続的にオフラインのコンピューターでドキュメンテーションを使用するために、ドキュメンテーションの ISO イメージをダウンロードしてオフラインのコンピューターにコピーし、そのイメージをマウントしてドキュメンテーションをインストールすることができます。

通常はインターネットに接続して MATLAB で作業し、まれにオフラインで作業する場合は、「一時的にオフラインで使用するためのドキュメンテーションのインストール」をご覧ください。

前提条件

- ・ オフライン コンピューターは Linux または Windows で実行されている必要があります。macOS オペレーティング システムでは、マウントした DMG イメージからのドキュメンテーションのダウンロードとインストールはサポートされていません。
- ・ ドキュメンテーションのダウンロードに使用するコンピューターには、インターネット接続が必要です。
- ・ ドキュメンテーションをダウンロードするには、MathWorks アカウントが必要です。オフライン コンピューターにドキュメンテーションをインストールする際には、MathWorks アカウントは必要ありません。
- ・ ドキュメンテーションのダウンロードに使用するコンピューターとオフライン コンピューターの両方で、ドキュメンテーションの ISO イメージのサイズに対応するために、10 GB より大きい空きディスク容量が必要です。
- ・ MATLAB がオフライン コンピューターに既にインストールされている必要があります。
- ・ IT の概念の知識があることが推奨されますが、必須ではありません。

ドキュメンテーションのダウンロード（インターネット接続が必要）

R2025b のドキュメンテーションをダウンロードするには、以下の [オペレーティング システム] リストで、ターゲットのオフライン コンピューターのオペレーティング システムを選択します。次に、[ドキュメンテーションのダウンロード] をクリックします。

メモ macOS の DMG は利用できません。macOS オペレーティング システムでドキュメンテーションをダウンロードしてインストールするには、「一時的にオフラインで使用するためのドキュメンテーションのインストール」を参照してください。

Operating Systems

Windows



Download documentation

R2025b より前のリリースのドキュメンテーションをダウンロードするには、サポート記事 [How do I download and install documentation on offline machines?](#) を参照してください。

オフライン コンピューターへのドキュメンテーションのコピー

リムーバブル メディアまたは共有ネットワークの場所を使用して、ダウンロードしたドキュメンテーションの ISO イメージをオフライン コンピューターにコピーします。次に、ご使用のプラットフォームの標準プロセスを使用して、オフライン コンピューターにイメージをマウントします。

詳細については、こちらのサポート記事を参照してください。

オフライン コンピューターへのドキュメンテーションのインストール

mpm コマンド ライン ツールを使用して、オフライン コンピューターにドキュメンテーションをインストールします。mpm は、ダウンロードしたドキュメンテーションの ISO イメージの一部として含まれています。

メモ 以下の手順は、オペレーティング システムのコマンド ラインから実行してください。これらのコマンドを MATLAB から実行しないでください。

- 1 オペレーティング システムのコマンド ラインから、ドキュメンテーション インストーラーが含まれている、マウントしたイメージ内のフォルダーに移動します。

```
cd <mountedDocImage>/bin/<arch>
```

- ・ <mountedDocImage> は、マウントしたドキュメンテーションの ISO イメージのルートです。
- ・ <arch> は、ISO イメージのオペレーティング システム アーキテクチャ フォルダーです (win64、glnxa64、maci64、maca64 など)。

- 2 mpm install-doc コマンドを使用して、ドキュメンテーションをインストールします。オフライン コンピューター上の MATLAB がインストールされているフォルダーに対して、--matlabroot オプションを指定します。関数 matlabshared.supportpkg.getSupportPackageRoot で決定されるとおり、mpm は既定で、ドキュメンテーションを MATLAB 内のサポート パッケージのルートフォルダーにインストールします。

Windows の例:

```
.\mpm.exe install-doc --matlabroot="C:\Program Files\MATLAB\R2025b"
```

Linux または Mac の例:

```
./mpm install-doc --matlabroot=/home/<username>/matlab
```

ドキュメンテーションをカスタムの場所にインストールするには、--destination オプションを使用してその場所への絶対パスも指定します。このオプションは、次の場合に使用します。

- ・ ドキュメンテーションをネットワーク ドライブにインストールして、すべてのユーザーが同じバージョンにアクセスできるようにする場合。
- ・ 複数のユーザーがアクセスするコンピューター上の共有の場所にドキュメンテーションをインストールする場合。このシナリオは、ドキュメンテーションがユーザー固有のフォルダーに既定でインストールされる、Linux プラットフォームにのみ適用されます。Windows では、ドキュメンテーションは共有の場所に既定でインストールされます。

Windows の例:

```
.\mpm.exe install-doc --matlabroot="C:\Program Files\MATLAB\R2025b" --destination="Z:\Shared\MATLAB Doc"
```

Linux の例:

```
./mpm install-doc --matlabroot=/home/<username>/matlab --destination=/usr/local/share/matlab-doc
```

- 3 ドキュメンテーションの ISO イメージをアンマウントします。ディスク容量を回復する必要がある場合は、イメージを削除します。

インストールしたドキュメンテーションを使用するための MATLAB の構成

MATLAB が Web ドキュメンテーションではなくインストールしたドキュメンテーションを開くように、MATLAB の設定を更新します。ドキュメンテーションを使用する MATLAB の各インストールで、以下を行います。

- 1 MATLAB を開き、コマンド プロンプトで以下を入力します。
`s=settings, s.matlab.help.DocLocation.PersonalValue='INSTALLED';`
- 2 ドキュメンテーションをカスタム場所にインストールした場合は、MATLAB がその場所を指すようにドキュメンテーションのルートを更新します。<custom/doc/install/folder> は、mpm install-doc の --destination オプションで指定したドキュメンテーションのパスです。
`docroot('<custom/doc/install/folder>/help')`
- 3 オプションで、以前の MATLAB コマンドを startup.m または matlabrc.m ファイルに追加して、MATLAB の起動時に毎回実行されるようにします。MATLAB の起動ファイルの使用の詳細については、「MATLAB 起動ファイルでの起動オプションの指定」を参照してください。
- 4 MATLAB を再起動します。

ローカル インストールの検証

ドキュメンテーションがローカルで開くことを検証します。MATLAB コマンド プロンプトで、「doc」と入力します。

開いたブラウザのページで、URL のアドレスを確認します。

- ・ URL がローカル IP アドレスとポート番号（例: `http://127.0.0.1:12345`）を指す場合、MATLAB はローカルにインストールされたドキュメンテーションにアクセスしています。
- ・ URL が Web アドレス（例: `https://www.mathworks.com/help/...`）を指す場合、MATLAB はまだ Web ドキュメンテーションにアクセスしています。セクション「インストールしたドキュメンテーションを使用するための MATLAB の構成」の説明に従って、ローカルにインストールされたドキュメンテーションを指し示すように MATLAB を更新します。

オフライン コンピューター上のドキュメンテーションの更新

製品の追加後または削除後にインストール済みのドキュメンテーションを更新したり、最新のドキュメンテーションをインストールしたりするには、前述の手順を繰り返します。

参考

関連する例

- ・ 「一時的にオフラインで使用するためのドキュメンテーションのインストール」
- ・ 「オフライン コンピューターへの製品のインストール」

プログラムによるサポート パッケージのインストール

多くの MATLAB および Simulink 製品では、サポート パッケージを使用してハードウェアと通信したり、追加の処理能力を提供したりします。この手順では、MATLAB パッケージ マネージャー (mpm) を使用して、プログラムによってサポート パッケージをインストールする方法を説明します。代わりに、サポート パッケージを対話的にインストールするには、MATLAB の [アドオン] パネルを使用します。詳細については、「アドオンの取得と管理」を参照してください。

MATLAB パッケージ マネージャーの入手

MATLAB パッケージ マネージャー (mpm) は、オペレーティング システムのコマンド ラインから製品とサポート パッケージをインストールするためのコマンド ライン ツールです。ご使用のプラットフォーム用の mpm の最新バージョンを入手するには、「MATLAB パッケージ マネージャーの入手」の手順に従います。

入力ファイルを使用したインストールの構成

ご使用の MATLAB リリース向けの mpm 入力ファイル入手し、サポート パッケージのインストールを構成するために使用します。

GitHub® の mpm-input-files フォルダーから、サポート パッケージをインストールする MATLAB リリースのフォルダーを開き、mpm_input_<release>.txt ファイルのコピーをダウンロードします。

この入力ファイルで、1 つの # で始まる行のコメントを解除して値を更新し、サポート パッケージのインストールを構成します。

- ・ リリースのアップデート レベル (オプション)

既定では、mpm は、指定したリリースの MATLAB サポート パッケージの最新バージョンをインストールします。

特定のリリースのアップデートをインストールするには、updateLevel 行のコメントを解除し、アップデート レベルを変更します。以下に例を示します。

- ・ updateLevel=0 は正式リリースをインストールします。
- ・ updateLevel=1 はアップデート 1 をインストールします。
- ・ MATLAB インストール フォルダー (オプション)

destinationFolder 行で、MATLAB インストールのルート フォルダーを指定します。destinationFolder を指定しない場合は、mpm によって、そのコンピューターのプラットフォームの既定の保存先フォルダーが設定されます。まだ MATLAB がインストールされていない場合は、mpm によって、destinationFolder 行で指定したフォルダーに MATLAB がインストールされます。

MATLAB のインストール フォルダーを指定するには、destinationFolder 行のコメントを解除し、そのフォルダーへのパスを指定します。

Linux または Mac の例:

```
destinationFolder=/home/<USER>/matlab
```

Windows の例:

```
destinationFolder=C:\Users\<USER>\matlab
```

メモ destinationFolder を使用してサポート パッケージのインストール フォルダーを指定することはできません。mpm は、destinationFolder によって指定された製品のインストール フォルダーから、このフォルダーを自動的に取得します。サポート パッケージのインストール フォルダーを変更するには、MATLAB をインストールしてから、関数 `matlabshared.supportpkg.setSupportPackageRoot` を実行します。

- サポート パッケージ

インストールするサポート パッケージのコメントを解除します。たとえば、このコードは mpm を 2 つのサポート パッケージをインストールするように構成します。必要な製品である MATLAB および Deep Learning Toolbox™ もインストールに含まれます。

```
product.Deep_Learning_Toolbox_Model_for_ResNet-50_Network
# ...
product.Deep_Learning_Toolbox_Model_for_VGG-16_Network
```

ファイルを保存します。

サポート パッケージのインストール

`mpm install` を使用してサポート パッケージをインストールします。ダウンロードして更新した入力ファイルの絶対パスを指定します。

Linux または Mac:

```
./mpm install --inputfile=/path/to/file/mpm_input_<release>.txt
```

Windows (管理者として実行):

```
.\mpm.exe install --inputfile="\"path\"to\"file\"mpm_input_<release>.txt"
```

mpm は、必須の製品 (この例では MATLAB と Deep Learning Toolbox) もインストールします (まだインストールされていない場合)。

参考

[mpm download](#) | [mpm install](#)

詳細

- 「プログラムによる製品のインストール」
- 「MATLAB パッケージ マネージャーの入手」
- 「オフライン コンピューターへのサポート パッケージのインストール」

外部の Web サイト

- [MATLAB パッケージ マネージャーの変更ログ \(GitHub\)](#)

オフライン コンピューターへのサポート パッケージのインストール

多くの MATLAB および Simulink 製品では、サポート パッケージを使用してハードウェアと通信したり、追加の処理能力を提供したりします。オフライン コンピューターにサポート パッケージをインストールするには、インターネットに接続されたコンピューターにサポート パッケージをダウンロードし、そのサポート パッケージをオフライン コンピューターにコピーして、MATLAB パッケージ マネージャー (mpm) を使用してオフライン コンピューターにサポート パッケージをインストールします。

MATLAB パッケージ マネージャーの入手 (インターネット接続が必要)

MATLAB パッケージ マネージャー (mpm) は、オペレーティング システムのコマンド ラインから製品とサポート パッケージをインストールするためのコマンド ライン ツールです。ご使用のプラットフォーム用の mpm の最新バージョンを入手するには、「MATLAB パッケージ マネージャーの入手」の手順に従います。

入力ファイルを使用したダウンロードの構成 (インターネット接続が必要)

ご使用の MATLAB リリース向けの mpm 入力ファイル入手し、サポート パッケージのダウンロードを構成するために使用します。

GitHub の mpm-input-files フォルダーから、サポート パッケージをダウンロードする MATLAB リリースのフォルダーを開き、その入力ファイルのコピーをダウンロードします。以下に例を示します。

mpm_input_r2025a.txt

この入力ファイルで、1 つの # で始まる行のコメントを解除して値を更新し、サポート パッケージのダウンロードを構成します。

- ・ リリースのアップデート レベル (オプション)

既定では、mpm は、指定したリリースの MATLAB サポート パッケージの最新バージョンをダウンロードします。

特定のリリースのアップデートをダウンロードするには、updateLevel 行のコメントを解除し、アップデート レベルを変更します。以下に例を示します。

- ・ updateLevel=0 は正式リリースをダウンロードします。
- ・ updateLevel=1 はアップデート 1 をダウンロードします。
- ・ ダウンロード フォルダー (必須)

destinationFolder 行のコメントを解除し、ダウンロード フォルダーを指定します。

Linux または Mac の例:

```
destinationFolder=/home/<USER>/downloads/mathworks
```

Windows の例:

```
destinationFolder=C:\Users\<USER>\Downloads\MathWorks
```

- ・ プラットフォーム (オプション)

既定では、mpm は、mpm download コマンドを実行するコンピューターのプラットフォーム用のサポート パッケージをダウンロードします。

別のプラットフォームのコンピューターにサポート パッケージをインストールする場合は、以下のコード ブロックを入力ファイルにコピーし、それらのコンピューターのプラットフォームのコメントを解除します。

```
## Uncomment the lines of the platforms for which you want to download products.
```

```
#platform.glnxa64
#platform.win64
#platform.maca64
#platform.maci64
```

たとえば、以下のコードは、Linux (glnxa64)、Windows (win64)、Mac Apple シリコン (maca64)、および Mac Intel (maci64) プラットフォーム用のサポート パッケージをダウンロードします。

```
platform.glnxa64
platform.win64
platform.maca64
platform.maci64
```

・ サポート パッケージ

ダウンロードするサポート パッケージのコメントを解除します。たとえば、以下のコードは 2 つのサポート パッケージをダウンロードするように mpm を構成します。必要な製品である MATLAB および Simulink もダウンロードに含まれます。

```
product.MATLAB_Support_Package_for_Arduino_Hardware
# ...
product.Simulink_Support_Package_for_Arduino_Hardware
```

ファイルを保存します。

サポート パッケージのダウンロード（インターネット接続が必要）

mpm download を使用してサポート パッケージをダウンロードします。ダウンロードして構成した入力ファイルの絶対パスを指定します。

Linux または Mac:

```
./mpm download --inputfile=/path/to/file/mpm_input_<release>.txt
```

Windows:

```
.\mpm.exe download --inputfile="\path\to\file\mpm_input_<release>.txt"
```

オフライン コンピューターへのダウンロード済みサポート パッケージのコピー

次のいずれかを行って、ダウンロードしたフォルダーをオフライン コンピューターへのインストール用に使用できるようにします。

- ・ コンピューターがアクセスできる共有ネットワーク ドライブにフォルダーをコピーします。
- ・ リムーバブル メディアを使用して、コンピューターにフォルダーを直接コピーします。

オフライン コンピューターへのサポート パッケージのインストール

ダウンロード フォルダーで、mpm/<arch> サブフォルダーに移動します。<arch> は、glnxa64 (Linux) または win64 (Windows) などのターゲット コンピューターのプラットフォーム アーキテク

チャです。このサブフォルダーには、ダウンロードしたサポート パッケージのインストールに使用できる mpm のバージョンが含まれます。Linux および Mac プラットフォーム上でのみ、mpm に実行権限を付与して実行できるようにします。

Linux または Mac:

```
cd /path/to/download/folder/mpm/<arch>
chmod +x mpm
```

Windows:

```
cd "\path\to\download\folder\mpm\<arch>"
```

mpm install を使用して、ダウンロードしたサポート パッケージをターゲット コンピューターにインストールします。

- ・ --source オプションを使用して、ダウンロードしたフォルダーへの絶対パスを指定します。
- ・ --destination オプションを使用して、MATLAB インストール フォルダーへの絶対パスを指定します。まだ MATLAB がインストールされていない場合は、mpm によってこの場所にインストールされます。

メモ --destination を使用してサポート パッケージのインストール フォルダーを指定することはできません。mpm は、--destination によって指定された製品のインストール フォルダーから、このフォルダーを自動的に取得します。サポート パッケージのインストール フォルダーを変更するには、MATLAB をインストールしてから、関数 `matlabshared.supportpkg.setSupportPackageRoot` を実行します。

- ・ --products オプションを使用して、インストールするサポート パッケージを指定します。mpm は、必須の製品（この例では MATLAB と Simulink）もインストールします（まだインストールされていない場合）。

Linux または Mac:

```
./mpm install --source=/path/to/download/folder --destination=/path/to/install/folder
--products=MATLAB_Support_Package_for_Arduino_Hardware Simulink_Support_Package_for_Arduino_Hardware
```

Windows（管理者として実行）:

```
.\mpm.exe install --source="\path\to\download\folder" --destination="\path\to\install\folder"
--products=MATLAB_Support_Package_for_Arduino_Hardware Simulink_Support_Package_for_Arduino_Hardware
```

既存のオフライン インストールへのサポート パッケージの追加

オフライン インストール用の追加サポート パッケージをダウンロードします。前の手順で必要な製品はすべてインストールしたので、--no-deps オプションを指定して、ダウンロードからそれらを省略します。

Linux または Mac:

```
./mpm download --release=R2025a --destination=/path/to/download/folder --no-deps
--products=MATLAB_Support_Package_for_Raspberry_Pi_Hardware Simulink_Support_Package_for_Raspberry_Pi_Hardware
```

Windows:

```
.\mpm.exe download --release=R2025a --destination="\path\to\download\folder" --no-deps
--products=MATLAB_Support_Package_for_Raspberry_Pi_Hardware Simulink_Support_Package_for_Raspberry_Pi_Hardware
```

その後、ダウンロードしたサポート パッケージをオフライン マシンにコピーし、前のセクションで示したように、`mpm install` を使用してインストールできます。

参考

`mpm download` | `mpm install`

関連する例

- ・ 「オフライン コンピューターへの製品のインストール」
- ・ 「永続的にオフラインのコンピューターへのドキュメンテーションのインストール」
- ・ 「オフライン コンピューター上での MATLAB の更新」

MATLAB サーバー製品のインストール

MATLAB Parallel Server™、MATLAB Web App Server™、MATLAB Production Server™ などのサーバー製品を MathWorks ダウンロード ページからダウンロードできます。インストール後、これらの製品では、追加の手順を実行してサーバーを設定する必要があります。たとえば、多くのサーバー製品では、インストール ディレクトリに移動し、セットアップ コマンドを実行する必要があります。

MATLAB Parallel Server

MATLAB Parallel Server をインストールして設定するには、MATLAB Parallel Server のインストールおよび構成を行うための解決法の選択からインストール ワークフローを選択します。

MATLAB Production Server

MATLAB Production Server をインストールするには、MATLAB Production Server 製品のインストールを参照してください。

サーバー インスタンスを設定するには、コマンド ラインまたはダッシュボード インターフェイスのいずれかを使用します。

- ・ Set Up MATLAB Production Server Using the Command Line
- ・ Set Up and Log In to MATLAB Production Server Dashboard

MATLAB Web App Server

MATLAB Web App Server をインストールするには、Install or Uninstall MATLAB Web App Server Product を参照してください。

サーバー インスタンスを設定するには、Set Up MATLAB Web App Server を参照してください。

MATLAB Online Server

MATLAB Online Server™ をインストールするには、Installation からご使用の環境に基づいてインストール手順を選択します。

参考

関連する例

- ・ 「MATLAB のダウンロードとインストール」

MathWorks サービス ホストとは

MathWorks サービス ホストは、MATLAB およびその他の MathWorks 製品に必要なサービスを提供するバックグラウンド プロセスのコレクションです。R2024a 以降、すべての MATLAB インストールには MathWorks サービス ホストが必要です。

MathWorks サービス ホストは、MathWorks Web サービスとの通信を容易にし、次のようなさまざまな接続機能をサポートします。

- ・ ライセンス。
- ・ MathWorks アカウントのサインインの有効化。
- ・ MATLAB Drive 用の MATLAB Connector のサポート。詳細については、「MATLAB Drive 用の MATLAB Connector のインストール」を参照してください。
- ・ REST 関数サービスの有効化。MATLAB での REST 関数サービスの作成に関する詳細については、を参照してください。
- ・ MATLAB Online でのハードウェア接続のサポート。例については、を参照してください。

インストールおよびアップデート

MathWorks サービス ホストは、MATLAB およびその他の MathWorks 製品とは別の場所にインストールされます。MathWorks サービス ホストのインストールは、新しいバージョンが利用可能になると自動的に更新されます（約 4 週間ごと）。

自動更新では、MathWorks サービス ホストのみが更新され、MATLAB インストールは更新されません。R2024a などの特定のリリースに対してどの MATLAB アップデートをインストールするかを制御できます（「既存のインストールの更新」を参照）。

最新バージョンの MathWorks サービス ホストは、コンピューターにインストールされている可能性のあるすべてのバージョンの MATLAB をサポートします。これには、他の MathWorks 製品が閉じられている場合でもバックグラウンドで実行される 2 つのプロセスが含まれます。これらのプロセスは、影響が少なく、エネルギー効率の高いプロセスです（Windows と macOS で分類）。これらは必要なバックグラウンド プロセスであるため、停止しないでください。MATLAB などの MathWorks アプリケーションを起動すると、別の MathWorks サービス ホスト クライアント プロセスも起動されます。アプリケーションを閉じると、このクライアント プロセスは終了します。

MathWorks サービス ホストは、Windows ではユーザー プロファイルに、macOS および Linux ではホーム ディレクトリにインストールされます。

セキュリティ上の考慮事項

MathWorks サービス ホストはコード署名されており、その信頼性と整合性を検証するデジタル署名を備えています。MathWorks サービス ホストがインストールされるか、新しいバージョンに自動更新されると、コード署名が検証されます。これにより、パッケージが純正であり、MathWorks が署名した後に変更や改ざんが行われていないことがチェックされます。コード署名を使用すると、MathWorks サービス ホストが MathWorks からの正規のインストールであることを（SignTool や Codesign のような標準ツールの使用などにより）検証および確認できます。Windows および Linux では、署名者は “The MathWorks, Inc.” であり、デジタル署名には SHA-256 メッセージ ダイジェスト アルゴリズムが使用されます。macOS では、署名権限は “Developer ID Application: The MathWorks, Inc. (94DN422U8R)” です。

参考

関連する例

- ・ 「MathWorks 製品をインストールするためのセキュリティ上の考慮事項」

ネットワーク ライセンスでの製品のインストール

ネットワーク構成でのクライアントのインストール オプション

ネットワーク ライセンス マネージャーのインストールと構成の計画

ネットワーク ライセンス マネージャーのインストール手順

MathWorks は、ネットワーク インストールに Flexera Software, Inc. のライセンス マネージャー プログラムを使用します（このドキュメンテーションでは、“ネットワーク ライセンス マネージャー” と呼びます）。

MATLAB をインストールする前に、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールすることをお勧めします。これにより、インストール時にクライアント コンピューターがライセンス サーバーに正常にアクセスしていることを確認できるため、MATLAB のインストールを簡単に検証できます。

ネットワーク ライセンスの管理のカテゴリから、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールして実行する手順を選択します。

ネットワーク ライセンス マネージャーのインストール後、MATLAB のインストール手順を選択します。

注意 ネットワーク インストールを計画するときに、以下の推奨事項に従ってください。

- ・ ネットワーク ライセンス マネージャーの実行コマンドを、インターネットまたは信頼されていないネットワークに公開しない。
 - ・ シャットダウン手順の実行にローカル管理者のアクセス権が必要になるように、ネットワーク ライセンス マネージャーを起動する。
-

MATLAB のインストール手順

MATLAB をユーザーのコンピューターにインストールする人は、次を満たしていなければなりません。

- ・ インストールするライセンスの管理者であること
- ・ ライセンスのネームド ユーザーである、またはネットワーク ライセンスが自分の MathWorks アカウントにリンクされている

次の表を参考にして、MATLAB の適切なインストール手順を選択します。

インストールのタイプ	インストール担当者	手順
インターネット接続を使用した対話的なインストールとアクティベーション。	管理者またはユーザー	管理者： 「MATLAB のダウンロードとインストール」 (p. 1-3) の手順に従います。 ユーザー： 「エンド ユーザーによる製品のインストール」 (p. 2-12) の指示に従います。次に、「MATLAB のダウンロードとインストール」 (p. 1-3) の手順に従います。

インストールのタイプ	インストール担当者	手順
管理者がインストーラーをダウンロードする。ユーザーがインターネット接続を使用し、対話的にインストールとアクティベーションを行う。	管理者およびユーザー	「エンド ユーザーによる製品のインストール」 (p. 2-12) の指示に従います。 次に、エンド ユーザーに、「MATLAB のダウンロードとインストール」 (p. 1-3) の手順に従ってもらいます。
オフライン コンピューターへの対話的なインストールとアクティベーション	管理者またはユーザー	「エンド ユーザーによる製品のインストール」 (p. 2-12) の指示に従います。 次に、「オフライン コンピューターへの製品のインストール」 (p. 1-11) の手順に従います。
管理者がインストーラーをダウンロードする。ユーザーが対話的にオフライン コンピューターへのインストールとアクティベーションを行う。		
サイレント モードでインストールする。 各ダイアログ ボックスで必要な情報を入力してインストールを対話的に実行する代わりに、インストーラーを非対話的に実行することができる。このモードでは、すべての必要な情報をプロパティ ファイルに入力する。	管理者、または知識のあるユーザー	「プログラムによる製品のインストール」 (p. 2-9)

参考

関連する例

- ・ 「ネットワーク ライセンス マネージャー ソフトウェアの更新」
- ・ 「ネットワーク ネームド ユーザー ライセンスの管理」
- ・ 「コンカレント ライセンスの管理」
- ・ 「クラウド プラットフォームの MATLAB のライセンス要件」

ネットワーク ライセンス ファイルの更新または変更

ネットワーク ライセンスについて

ネットワーク ライセンスには、組織がインストールおよび実行するライセンスを保有している各製品の暗号パスコードが記載されています。

一般に、サーバーまたはクライアント コンピューター上のネットワーク ライセンス ファイルを変更する必要はありません。しかし、状況によっては、ライセンス ファイルを編集しなければならない場合があります。

- ・ ライセンス サーバーの名前を変更する場合（たとえば、ライセンスを新しいサーバーでホストする場合など）。
- ・ ポート番号を変更する場合（たとえば、サーバーのポート アドレスが変更された場合など）。How do I migrate my MATLAB clients to a new license server when the license server changes? を参照してください。
- ・ ネットワーク インストールを新しいライセンス ファイルで更新する場合。MATLAB Answers の How do I update the license file used by the Network License Manager? を参照してください。

ネットワーク ライセンス ファイルの内容

ネットワーク ライセンス ファイルとは特殊な形式の ASCII テキスト ファイルで、実行するライセンスのある各製品の暗号パスコードが記載されています。各製品のパスコードは、該当する製品で使用可能なライセンス キーの数を指定します。各製品に関連付けられているライセンス キーの使用状況に応じて、その製品へのアクセスを許可するか拒否するかがネットワーク ライセンス マネージャーによって決定されます。

- ・ 各 INCREMENT 行は、製品、製品に対して使用可能なキーの数、その他の情報を指定します（この例に示されているすべての要素が実際のライセンス ファイルの INCREMENT 行に含まれているとは限りません）。
- ・ バックスラッシュまたは円記号（\）は、その行が次の行に続くことを示します。
- ・ シャープ記号（#）で始まる行はコメント行です。MathWorks インストーラーは、インストール中のライセンス ファイル処理時に、これらのコメント行にあるライセンス サーバーのホスト ID、インターネット アドレスなどの情報を使用します。

```
# BEGIN-----BEGIN-----BEGIN
# MATLAB license passcode file.
# LicenseNo: 123456          HostID: 6C4B905F446E
#
# R2021b
#
INCREMENT MATLAB MLM 46 30-jan-2025 13 FDC7243F4976 \
  VENDOR_STRING=vi=0:at=200:ae=1:lu=300:lo=CN:ei=1234567:lr=1:2p=0: \
  DUP_GROUP=UH asset_info=123456 ISSUED=21-Nov-2021 BORROW=720 \
  NOTICE=product=MATLAB SN=123456 SIGN="00C8 0547 EFD5 50D7 B9CE \
  4C9D 3348 561B E9E3 6CCA 7986 C2F6 38C8 794F EE84"
INCREMENT SIMULINK MLM 46 30-jan-2025 1 7DE4D05FF067 \
  VENDOR_STRING=vi=0:at=200:ae=1:lu=300:lo=CN:ei=1234567:lr=1:2p=0: \
  DUP_GROUP=UH asset_info=123456 ISSUED=21-Nov-2021 BORROW=720 \
  NOTICE=product=SIMULINK SN=123456 SIGN="00BE C534 0A32 1821 \
  AFCE D040 2085 3E00 9005 4983 7EFB 875F E4A7 FEE6 9548"
```

ライセンスの処理

ネットワーク ライセンス マネージャーまたは MATLAB ソフトウェアのインストール時に、インストーラーはサーバー マシン用とクライアント マシン用のネットワーク ライセンスをそれぞれ処理します。

サーバーへのネットワーク ライセンス マネージャーのインストール中

サーバー上でインストーラーが次を行います。

- ・ `license.dat` というネットワーク ライセンス ファイルのコピーを作成し、ファイルを処理して `SERVER` と `DAEMON` の行を追加し、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールする `/etc` フォルダーにこのコピーを配置します。
- ・ `SERVER` 行はサーバー名、ホスト ID、およびポート番号を識別します。`DAEMON` 行はネットワーク ライセンス マネージャー デーモンの名前を識別します。
- ・ ネットワーク ネームド ユーザー ライセンスについては、インストール時にインストーラーでオプション ファイルが作成されると、ライセンス ファイルの `DAEMON` 行に `Options=` 構文も追加されます。この構文はオプション ファイルのパス名を指定します。

たとえば、ポート 27000 で実行され、ホスト ID が MAC アドレス 03:42:f8:1b:b2:72 である、`thunderball` という名前のサーバーがあるとします。ライセンス ファイル内の `SERVER` 行と `DAEMON` 行は次のようになります。

```
SERVER thunderball 0342f81bb271 27000
DAEMON MLM "C:\Program Files\MATLAB\R2025b\etc\win64\MLM.exe" options="C:\Program Files\MATLAB\R2025b\etc\mlm.opt"
```

ライセンスの処理中に、インストーラーは MAC アドレスからコロンを削除します。

クライアント コンピューターへの MATLAB のインストール中

インストーラーを実行するには、まずネットワーク ライセンス マネージャーのインストール中に構成された `license.dat` ファイルをコピーし、クライアント マシンまたはネットワークからアクセス可能な場所のいずれかに配置する必要があります。

次に、インストール中に、インストーラーは `license.dat` のコピーを作成し、それを処理してライセンス ファイルから `INCREMENT` 行と `DAEMON` 行を削除して、`SERVER` 行はそのまま残します。また、ファイルにステートメント `USE_SERVER` を追加します。この行はクライアントにサーバー上のネットワーク ライセンス ファイルを指定します。ファイルには製品のすべてのパスコードが記載されています。

この構成済みファイルに `network.lic` という名前を付け、そのファイルを `matlabroot\licenses` に配置します。

メモ ライセンス センターからダウンロードしたライセンス ファイルをユーザーに提供しないでください。ユーザーは、ネットワーク ライセンス マネージャーのインストール中に特別に構成されたライセンス ファイルを使用する場合にのみ、インストールができます。

MATLAB ライセンスの検索パス

MATLAB は起動時にライセンス ファイルを読み取り、製品のライセンスを確認します。MATLAB は次の場所を順番に検索してライセンス ファイルを見つけます。

- 1 MATLAB の起動コマンド ラインに `-c` オプションを使用して指定されたライセンス ファイル。`-c` オプションは検索順序全体をオーバーライドし、コマンド ラインに指定されている内容のみを使用します。これは MATLAB が検索する“唯一の”パスです。
- 2 環境変数 `MLM_LICENSE_FILE` および `LM_LICENSE_FILE`。
- 3 プログラムを起動したユーザーのプロファイル フォルダー。
- 4 MATLAB インストールの `\licenses` フォルダーにある `license.dat` というファイル、または拡張子 `.lic` をもつ任意のファイル。

MATLAB がネットワーク ライセンス サーバーからチェックアウトされると、同じセッションでチェックアウトされるすべてのツールボックスもそのライセンス サーバーから取得されます。パス上のライセンス ファイルがサーバー ライセンスではない場合（つまり、インディビジュアル、コンピューター指定、または評価版のスタンドアロン ライセンス ファイルである場合）でも、ツールボックスはそのファイルまたはライセンス サーバーからチェックアウトできます。

MATLAB ライセンスの検索パスの設定

既定で MATLAB は、ライセンス ファイルをクライアント コンピューター上の MATLAB クライアント インストール フォルダーにある `\licenses` フォルダーにインストールします。ただし、次のいずれかの方法でこの場所をオーバーライドすることができます。

- ・ MATLAB の起動時にコマンド ラインで `-c` オプションを使用して、ライセンス ファイルへのパスを指定します。

`-c` オプションは環境変数を含む検索順序全体をオーバーライドし、コマンド ラインに指定されている内容“のみ”を使用します。これは MATLAB が検索する“唯一の”パスです。

検索を行うパスの一覧を指定できます。`-c` オプションを使用するときには、次のことに注意してください。

- ・ ライセンス ファイルへのパスにスペースが含まれる場合は、パス名を引用符で囲みます。
- ・ 複数のライセンス ファイルを指定する場合は、必ずライセンス ファイルのリスト全体を引用符で囲みます。
- ・ 環境変数を設定します。

`"MLM_LICENSE_FILE"` は、MATLAB 製品のライセンス ファイルの場所を指定します。MathWorks は、まずこの環境変数を検索します。

メモ 環境変数 `LM_LICENSE_FILE` を設定できますが、この変数はすべての Flex 対応製品に影響を与えるため、使用は推奨されません。代わりに、`<VENDOR>_LICENSE_FILE` を使用してください。

メモ 環境変数 `MLM_LICENSE_FILE` を使用している場合は、`matlab/licenses/network.lic` を削除する必要があります。

ネットワーク ライセンス ファイルの更新

MathWorks から新しいライセンスを受け取った場合、MATLAB ライセンスにユーザーがアクセスする可能性の最も低い時間に、ネットワーク サーバー上のライセンス ファイルを更新するように計画してください。

最新のライセンス ファイルの準備

最新のライセンス ファイルをダウンロードし、ライセンス サーバーでできるように準備します。

- 1 ライセンス センターから最新のライセンス ファイルをダウンロードします。この手順を実行するのはライセンス管理者でなければなりません。
 - a ライセンス センターで、更新する製品ライセンスをクリックします。
 - b [インストールとアクティベーション] タブのライセンス サーバー テーブルで、ライセンス サーバーの行を見つけます。次に、[ライセンス ファイルを取得] 列で、ダウンロード矢印または電子メール アイコンをクリックします。
 - c [ライセンス ファイルをダウンロード] をクリックし、次に[完了] をクリックします。ページに表示される追加の手順は無視してください。ダウンロードしたライセンス ファイルの名前は license.lic です。
- 2 (オプション) 複数のライセンスを更新する場合は、前の手順を繰り返して他のライセンス ファイルをダウンロードします。次に、これらのファイルの内容を 1 つの license.lic ファイルに結合します。ファイルに空白行を含めないでください。
- 3 サーバーの既存のライセンス ファイルから SERVER 行と DAEMON 行を、ダウンロードしたライセンス ファイルにコピーします。変更されたライセンス ファイルは以下のようになります。

```
SERVER <hostname> <hostID> <portNumber>
DAEMON MLM <lmroot>/etc/<arch>/MLM
# BEGIN-----BEGIN-----BEGIN
<license file 1>
# END-----END-----END
# BEGIN-----BEGIN-----BEGIN
<license file 2>
# END-----END-----END
.
.
.
# BEGIN-----BEGIN-----BEGIN
<license file N>
# END-----END-----END
```

既存のライセンス ファイルの置き換え

- 1 プラットフォームの手順に従って、ライセンス マネージャーを停止します。「ネットワーク ライセンス マネージャーの起動と停止」を参照してください。
- 2 既存のサーバー ライセンス ファイルを、準備したライセンス ファイルに置き換えます。

ヒント: ライセンス マネージャー ソフトウェアも更新する場合は、この時点で既存のライセンス マネージャーのバイナリを最新のバイナリに置き換えます。ライセンス マネージャーの更新の詳細については、「ネットワーク ライセンス マネージャー ソフトウェアの更新」を参照してください。
- 3 プラットフォームの手順に従って、ライセンス マネージャーを再起動します。「ネットワーク ライセンス マネージャーの起動と停止」を参照してください。

ステータスを問い合わせ、ライセンス ファイルが更新されたことを確認できます。次のサポート記事に、ステータスを問い合わせる手順が記載されています。ライセンスまたはキーの使用状況のモニタリング

参考

外部の Web サイト

- ・ ライセンス センター

プログラムによる製品のインストール

MATLAB ソフトウェアのインストールを多数回実行する必要があるため、各インストールで入力する必要がある情報が同じである場合、この情報をプロパティ ファイルに設定して、MathWorks インストーラーをプログラムで実行することができます。インストーラーの起動時にコマンド ラインでプロパティ ファイルを指定します。このファイルは、通常であればインストーラーのダイアログ ボックスを使用して、対話的に入力する情報をインストーラーに提供します。プログラムでのインストール（“サイレント” インストールとも呼ばれます）では、時間を節約し、間違いを防ぐことができます。

前提条件

インストーラー プロパティ ファイル (installer_input.txt) を使用するには、ファイル インストール キーが必要です。ファイル インストール キーの取得方法の詳細については、「オフライン コンピューターへの製品のインストール」を参照してください。

インストーラーと製品のダウンロード

ターゲット コンピューターにインストールする MathWorks 製品が含まれているインストーラーをダウンロードします。使用するダウンロード手順は、ライセンスを所有している製品のサブセットのみをインストールするのか、ライセンスを所有しているすべての製品をインストールするののかによって異なります。

ダウンロード専用インストーラーを使用した製品のサブセットのダウンロード

ターゲット コンピューターに製品のサブセットのみをインストールする必要がある場合は、MathWorks インストーラーを使用して、該当する製品が含まれている別個のインストーラーをダウンロードします。

- 1 MathWorks ダウンロードにアクセスして、リリース、およびダウンロードの実行に使用するコンピューターのプラットフォームを選択し、インストーラーをダウンロードします。
- 2 ダウンロードしたインストーラーを実行し、MathWorks アカウントにサインインして、ライセンス許諾書に同意します。
- 3 [詳細オプション] で [インストールせずにダウンロードする] を選択します。
- 4 インストーラーのダウンロード先、ターゲット コンピューターのプラットフォーム、およびダウンロードに含める製品を指定します。次に、製品ファイルが含まれているインストーラーをダウンロードします。
- 5 各ターゲット コンピューター上のローカル フォルダーやネットワーク共有など、各ターゲット コンピューターからアクセスできる場所にインストーラーをコピーします。

ISO イメージを使用したすべての製品のダウンロード (Windows または Linux のみ)

ターゲットの Windows および Linux コンピューターにすべての製品をインストールするには、すべての製品を含む ISO イメージをダウンロードします。

macOS での DMG イメージからの製品のダウンロードおよびサイレント インストールはサポートされていません。

ISO イメージをダウンロードするには、ライセンス管理者でなければなりません。

- 1 MathWorks ダウンロードにアクセスして、[ダウンロードの選択] メニューから [ISO および DMG の入手] を選択します。このリンクは、ライセンス管理者としてサインインした場合のみ表示されます。

- 2 ダウンロードするリリースと ISO の更新を選択します。
- 3 [MATLAB および Simulink 製品の ISO および DMG を入手する] で、ターゲット コンピューター（このダウンロードを実行するために使用しているコンピューターではありません）のプラットフォームを選択して、ISO をダウンロードします。
- 4 ご使用のオペレーティング システムの標準プロセスを使用して、ダウンロードした ISO イメージをフォルダーにマウントします。
- 5 各ターゲット コンピューター上のローカル フォルダーやネットワーク共有など、各ターゲット コンピューターからアクセスできる場所にインストーラーをコピーします。

インストーラー プロパティ ファイルの作成

- 1 インストーラー プロパティ ファイル `installer_input.txt` のコピーを作成します。このファイルは、インストーラーが含まれているフォルダーの最上位にあります。

たとえば、Windows コンピューターでは次のコマンドを実行します。

```
copy Z:\installer_input.txt C:\temp\my_installer_input.txt
```

- 2 任意のテキスト エディターを使用して、コピーしたインストーラー プロパティ ファイルを開きます。
- 3 単一の # シンボルで開始しているパラメーターのみ、コメントを解除し、適切な値を入力します。以下に例を示します。

- ・ **destinationFolder**

製品をインストールするフォルダーへのパスを指定します。絶対パスを指定する必要があります。相対パスを指定すると、`installer_input` ファイルが正しく読み込まれない可能性があります。各オペレーティング システムのサンプル保存先フォルダーを以下に示します。

- ・ Windows:

```
destinationFolder=C:\Program Files\MATLAB\R2025b
```

- ・ Linux:

```
destinationFolder=/opt/MATLAB/R2025b
```

- ・ macOS:

```
destinationFolder=/Applications
```

- ・ **fileInstallationKey**

ファイル インストール キーの値を指定します。以下に例を示します。

```
fileInstallationKey=01234-56789-01234-56789
```

- ・ **agreeToLicense**

MathWorks 製品をインストールするためにライセンス許諾に同意するには、この値を `yes` として指定する必要があります。

```
agreeToLicense=yes
```

- ・ 製品

既定では、ライセンス許諾されたすべての製品がインストーラーによってインストールされます。これは、指定したファイル インストール キーによって決まります。ライセンス許諾された特定

の製品または製品のサブセットをインストールするには、インストールする製品の行のコメントを解除します。以下に例を示します。

```
product.MATLAB
# ...
product.Simulink
```

- 4 ファイルへの変更を保存します。

プロパティ ファイルを使用したインストーラーの実行

- 1 インストーラーと製品が含まれているフォルダーに移動します。
- 2 コマンド ウィンドウまたはコマンド ターミナルで、`-inputFile` オプションを使用してインストーラー プロパティ ファイルの絶対パスをコマンド ライン引数として指定し、インストーラーを起動します。

Windows では、`-inputFile` オプションを指定して `setup.exe` アプリケーションを実行します。以下に例を示します。

```
setup.exe -inputFile C:\temp\my_installer_input.txt
```

Linux または macOS では、`-inputFile` オプションを指定して `install` スクリプトを実行します。以下に例を示します。

```
install -inputFile /tmp/my_installer_input.txt
```

インストールおよびアクティベーションのログ ファイルの表示

MathWorks 製品のインストールやアクティベーションの際に、製品のインストーラーは、これらのプロセスに関する情報の取得に使用できるログ ファイルを作成します。

インストール ログ ファイルの名前は `mathworks_%username%.log` で、アクティベーション ログ ファイルの名前は `aws_%username%.log` です。どちらの場合でも、`%username%` はインストーラーを実行しているユーザーの名前です。

ログ ファイルの場所を見つけるには、MATLAB のインストール ファイルとログ ファイルのある場所を参照してください。

エンド ユーザーによる製品のインストール

メモ [ネットワーク ライセンス ファイルが必要] というエラーのためにこのトピックを参照し、かつネットワーク ライセンスを既に MathWorks アカウントにリンクしている場合は、管理者に連絡してネットワーク ライセンス ファイルのコピーを入手してからインストーラーに戻ってください。

メモ 以下の手順は、ネットワーク ライセンスを使用して自分のマシンにインストールを行うユーザーをサポートするものです。エンド ユーザーのためにソフトウェアをインストールする管理者である場合は、「クライアント マシンへの製品のインストール」を参照してください。それ以外の場合は、以下の手順を参照して、ユーザーが正常にインストールを行うために必要なアイテムを提供してください。

ライセンス要件

すべてのネットワーク ライセンス ユーザーは、製品をインストールする前に、自分のマシンにネットワーク ライセンス (license.dat) のコピーを構成するか、そのコピーにネットワーク共有からアクセスできなければなりません。

- ・ 管理者 - ネットワーク ユーザーが MATLAB をインストールする前に、ネットワーク ライセンス マネージャーからの license.dat のコピーを渡してください。このネットワーク ライセンス ファイルは、組織のネットワーク ライセンス マネージャーのインストール時に処理されました。つまり、使用しているネットワーク ライセンス サーバーについて正しい SERVER 行が含まれています。インストール時におけるネットワーク ライセンスの処理方法の詳細については、「ライセンスの処理」を参照してください。

ライセンスの電子メールで受信したオリジナルのライセンス ファイルのコピーをユーザーに提供しないでください。この形式のライセンス情報は、正しい SERVER 行を含んでいないため、使用できません。また、MathWorks から受信したライセンス電子メールをユーザーに転送することも避けてください。

- ・ MATLAB ユーザー - MathWorks 製品をインストールする前に、ライセンス管理者またはネットワーク管理者から license.dat のコピーを入手する必要があります。

評価版ライセンスを使用している場合は、<https://www.mathworks.com/licensecenter/trials> にアクセスします。

手順の選択

次の表を参考にして、使用する手順を決定します。

シナリオ	使用する手順
MATLAB リリースの更新とアップグレードを自分で行う場合。	「オプション #1: MathWorks アカウントにネットワーク ライセンスをリンクする」
このインストールを 1 回だけ実行することを依頼され、自分で更新やアップグレードをインストールすることはないと想定される場合。コンピューターがオフラインの場合は、このオプションを使用しなければなりません。	「オプション #2: ライセンス ファイルとファイルインストール キーを使用してインストールする」

複数のリリース 同じマシンに複数のリリースをインストールできます。たとえば、R2022a と R2022b の両方、または R2022b と R2023a の両方をインストールできます。

オプション #1: MathWorks アカウントにネットワーク ライセンスをリンクする

コンピューターがオフラインの場合は、オプション #2 のワークフローに従わなければなりません。

ネットワーク ライセンスをリンクするには、次を行います。

- 1 管理者に連絡して、使用するネットワーク ライセンス番号を入手します。
- 2 ライセンスを MathWorks アカウントにリンクするには、追加のライセンスをリンクするの順に従います（先にサインインしなければならないことがあります）。

MathWorks アカウントを保有していない場合は、リンク先のページで作成できます。

- 3 管理者から組織のネットワーク ライセンス ファイルのコピーを取得し、このライセンス ファイルを、インストールを予定しているマシンにコピーします。

このオプションを選択した場合、「MATLAB のダウンロードとインストール」に記載されたオンライン インストールの手順に従うことができますが、次の違いがあります。

オンライン インストール中にプロンプトが表示されたら、アカウントにリンクされたネットワーク ライセンスを指定します。インストーラーはこれをネットワーク ライセンスとして認識し、ライセンス ファイルの指定を求めるプロンプトを表示します。ライセンス ファイルへのパスを入力し、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

オプション #2: ライセンス ファイルとファイル インストール キーを使用してインストールする

このワークフローでは、コンピューターはインターネットに接続されていても、オフラインでも構いません。マシンがオフラインの場合は、このワークフローを使用しなければなりません。

- 1 管理者に連絡して、ネットワーク ライセンス ファイルのコピー（「ライセンス要件」を参照）と、ファイル インストール キー（FIK）を入手します。
- 2 このネットワーク ライセンス ファイルと FIK を、MATLAB のインストールを予定しているマシンにコピーします。
- 3 「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」と「オフライン コンピューターへの製品のインストール」の手順に従います。管理者がインストーラーをダウンロードした場合は、その管理者にファイルへのアクセス権の付与を依頼します。

参考

関連する例

- ・ 「MATLAB のダウンロードとインストール」 (p. 1-3)
- ・ 「オフライン コンピューターへの製品のインストール」 (p. 1-11)

手動による MATLAB インストールのアクティベーション

アクティベーションの概要

“アクティベーション” は、MathWorks 製品を使用するライセンス許可を受けていることを確認するプロセスです。このプロセスでは、ライセンスを検証して、選択したライセンス オプションで許可されている数を超えるコンピューターまたはユーザーによってソフトウェアが使用されないようにします。通常、アクティベーションはインストール中に行われ、エンド ユーザーによる個別のアクションはありません。

しかし、手動でソフトウェアのアクティベーションを行う場合もあります。たとえば、インストール時のアクティベーションが何らかの理由で失敗した場合や、ファイル インストール キーでインストールを行ってライセンスを指定しなかった場合です。

このトピックでは、手動でのアクティベーションが必要になった場合のアクティベーション方法について説明します。

他のユーザーがインストールした MATLAB ソフトウェアのアクティベーションを指示されているエンド ユーザーも、この手順に従っていただけます。

- ・ MATLAB 内からオンライン アクティベーションを実行するには、コンピューターがインターネットに接続されていなければなりません。
- ・ MATLAB 内からオフライン アクティベーションを実行するには、ライセンス ファイルがなければなりません。
 - ・ インディビジュアル ライセンスを使用している場合、オンラインのマシンを使用してライセンス センターに移動し、ライセンス ファイルを入手します（所有しているライセンスの種類がわからない場合は、ライセンス センターで確認できます）。
 - ・ 使用するライセンスを選択します。
 - ・ [インストールとアクティベーション] タブに移動します。
 - ・ [アクティベーションを実行してライセンス ファイルを取得] をクリックします。ライセンス ファイルをダウンロードし、オフラインのマシンに転送します。
- ・ 共有ライセンスを使用している場合、管理者に問い合わせ、所属する組織専用に構成されたライセンス ファイルを入手します。それをオフラインのマシンにコピーします。

手順 1. アクティベーション アプリの起動

アクティベーション アプリは、MATLAB 内から、またはオペレーティング システムのコマンド ラインから起動することができます。

MATLAB からのアクティベーション アプリの起動

次の手順に従います。

- 1 [ホーム] タブの [リソース] セクションで、[ヘルプ]、[ライセンス] をクリックします。
- 2 [ソフトウェアのアクティベーションを行う] を選択します。

コマンド ラインからのアクティベーション アプリの起動

- ・ Windows システム – タスク バーの検索ボックスに「Activate」と入力し、[Activate MATLAB] アプリケーションを表示させます。

- ・ macOS システム – MATLAB アプリケーション パッケージに含まれているアクティベーション アプリケーションのアイコンをダブルクリックします。MATLAB アプリケーション パッケージの内容を表示するには、パッケージを右クリック（または Ctrl キーを押しながらクリック）し、[パッケージの内容を表示] を選択します。
- ・ MATLAB インストール フォルダーに移動し、アクティベーション アプリケーションを開きます。
 - ・ Windows システム – `matlabroot\bin\ARCH` フォルダーにある `MathWorksProductAuthorizer.exe` ファイルをダブルクリックします。ここで、`matlabroot` は MATLAB インストール フォルダーであり、`ARCH` は `matlabroot\bin\win64` のようなプラットフォーム固有のサブフォルダーです。
 - ・ Linux および macOS システム – `matlabroot\bin\ARCH` フォルダーにある `MathWorksProductAuthorizer` を実行します。ここで、`matlabroot` は MATLAB インストール フォルダーであり、`ARCH` は `matlabroot\bin\linux64` フォルダーのようなプラットフォーム固有のサブフォルダーです。

手順 2. ライセンスのアクティベーション

メモ コンピューターがオフラインの場合、ライセンス ファイル（オフライン）のワークフローが自動的に開始します。しかし、コンピューターがインターネットに接続されている場合は、オンラインのワークフローが開始します。

- ・ ライセンス ファイルのワークフローに切り替えるには、[詳細オプション] で [ライセンス ファイルを使用する] を選択します。
- ・ ライセンス ファイルのワークフローからオンラインのワークフローに切り替えるには、[詳細オプション] で [ライセンスをリンクする] を選択します。

オンラインのワークフロー

- 1 MathWorks アカウントに使用する電子メール アドレスを入力します。
MathWorks アカウントがない場合は、この時点で作成できます。
- 2 MathWorks アカウントとリンクされたライセンスのリストからライセンスを選択して、[次へ] をクリックします。
- 3 選択内容が正しいことを確認し、[アクティベーション] をクリックします。

オフライン（ライセンス ファイル）のワークフロー

- 1 電子メール アドレスの入力を求めるプロンプトが表示されたら、[詳細オプション] で [ライセンス ファイルを使用する] を選択します。
- 2 ライセンス ファイルへのパスを入力し、[アクティベーション] をクリックします。

この後は

MathWorks ソフトウェアの使用を開始する準備ができました。

ネットワーク ライセンス マネージャーのインストール

ネットワーク ネームド ユーザー ライセンスとコンカレント ライセンス用に、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールして実行します。

ネットワーク ライセンス マネージャーのオフライン インストール

インターネットに接続されていないマシンにネットワーク ライセンス マネージャーをインストールするには、ネットワーク ライセンス ファイルを使用します。ただし、最初に、インターネットに接続されているコンピューターを使用してインストーラーとライセンス ファイルをダウンロードしなければなりません。

MATLAB ソフトウェアをクライアント システムにインストールする前に、ライセンス マネージャーをインストールして実行していなければなりません。MathWorks ソフトウェアをクライアント システムにインストールする方法の詳細については、「ネットワーク ライセンス マネージャーのインストールと構成の計画」 (p. 2-2) を参照してください。

ネットワーク ライセンス マネージャーは、サイトで 1 回のみインストールする必要があります。

手順 1. ライセンス ファイルのダウンロード

これらの手順は、インターネットに接続しているマシンで実行してください。

- 1 MathWorks Web サイトのライセンス センターに移動します。指示があった場合は、MathWorks アカウントにサインインします。
- 2 使用するネットワーク ライセンスをクリックします。
- 3 [インストールとアクティベーション] タブをクリックし、[サーバーのアクティベーションを実行] をクリックします。
- 4 ネットワーク ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのホスト ID を取得します。MATLAB Answers の [What is a Host ID? How do I find my Host ID in order to activate my license?](#) を参照してください。
- 5 ネットワーク ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのオペレーティング システムのタイプとホスト ID を指定します。オプションで、アクティベーションに説明ラベルを割り当てることもできます。[続行] をクリックします。
- 6 [ソフトウェアはインストールされていますか?] に [いいえ] と回答して、[続行] をクリックします。
- 7 [ライセンス ファイルをダウンロード] または [ライセンス ファイルを電子メールで送信] を選択します。

いずれのオプションを選択した場合でも、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールするサーバーにライセンス ファイルを必ず保存してください。

[続行] をクリックします。

このワークフローでは、ライセンス センターの手順 2 と手順 3 をスキップし、引き続きここに示す手順に従うことができます。

手順 2. インストーラーのダウンロード

- 1 インターネットに接続されているコンピューターで、MathWorks Web サイトのダウンロード ページから MathWorks 製品のインストーラーをダウンロードします。
- 2 インストーラー ファイルとライセンス ファイルを、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールするサーバーにコピーします。

手順 3. インストーラーの起動

1 インストーラーを起動します。

- ・ Windows システム

MathWorks Web サイトでインストーラーを選択し、[実行] をクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。インストーラーを保存した場合は、保存先のフォルダーにある自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。自己解凍形式のインストーラー ファイルの名前は `matlab_release_$ARCH` です。`release` はインストールするリリース (R2020a など) を、`$ARCH` は選択したアーキテクチャを示します。

解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。

後でインストーラーを再起動するには、`setup.exe` をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。

- ・ macOS システム

MathWorks Web サイトからダウンロードした `dmg` ファイルをダブルクリックします。`InstallForMacOS.app` をダブルクリックします。

- ・ Linux システム

`unzip` コマンドを使用して、MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルからファイルを解凍します。ファイルの解凍後、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

手順 4. ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して [次へ] をクリックします。

メモ インストール後に適宜エンド ユーザー ライセンス許諾書を表示するには、MATLAB コマンド ウィンドウで次のコマンドを実行します。

```
edit(fullfile(matlabroot, 'license_agreement.txt'))
```

手順 5. ライセンス ファイルの選択

手順 1 でダウンロードしたライセンス ファイルの名前とパスを入力します。[次へ] をクリックします。

ライセンスに含まれるホスト ID をインストーラーが見つけない場合、インストール完了後にホスト ID を手動で追加するよう指示するメッセージが表示されます。

手順 6. 保存先フォルダーの選択

保存先フォルダーは、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールする場所です。既定のインストール フォルダーをそのまま使用するか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

保存先フォルダーは絶対パスでなければなりません。MathWorks では、ネットワーク ライセンス マネージャーを専用のフォルダーにインストールすることを推奨します。ドライブの最上位を選択した場合、選択内容を確認するように求められます。

フォルダー名を指定するときには、次の条件があります。

- ・ 任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。
- ・ 英語以外の文字は使用できません。
- ・ フォルダー名に無効な文字を含めることはできません。また、保存先の名前を“private”にすることはできません。

フォルダー名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定値に戻す] をクリックします。

手順 7. オプションの選択 (Windows システムのみ)

ネットワーク ライセンス マネージャー サービスを設定することにより、システム起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動し、Windows の [サービス] コントロール パネルでライセンス マネージャーを一元管理できます。システム起動時にライセンス マネージャーを自動的に起動する場合は、[サービスとして構成] チェック ボックスをオンにします。

ネットワーク ライセンス マネージャーの既定の設定を確認するには、[既定の設定の表示] をクリックします。ネットワーク ライセンス マネージャー サービスを設定しないことを選択した場合は、後から設定できます。

メモ 新しいネットワーク ライセンス マネージャーをインストールするまで既存のネットワーク ライセンス マネージャーを継続して使用する場合は、[サービスとして構成] チェックボックスをオンにしないでください。この場合でも、インストーラーによりネットワーク ライセンス マネージャー ファイルがインストールされます。インストールが完了したら、既存のライセンス マネージャーを停止して、新しいライセンス マネージャーを起動できます。

手順 8. 選択内容の確認とインストール

インストールの選択内容のまとめを確認します。設定を変更するには、ナビゲーション バーのトピックをクリックします。インストールを続行するには、[インストールの開始] をクリックします。

インストールが完了したら、構成を完了するために必要な追加の手順が表示されるかどうかを確認し、[閉じる] をクリックします。追加の手順が必要な場合は、クライアント マシンに MATLAB をインストールして実行する前に完了しておきます。

参考

関連する例

- ・ 「ネットワーク ライセンス マネージャーのインストールと構成の計画」 (p. 2-2)

インターネット接続を使用したネットワーク ライセンス マネージャーのインストール

インターネットに接続しているコンピューターにネットワーク ライセンス マネージャーをインストールします。MATLAB ソフトウェアをクライアント システムにインストールする前に、ライセンス マネージャーをインストールして実行していなければなりません。「ネットワーク ライセンス マネージャーのインストールと構成の計画」 (p. 2-2) を参照してください。

ネットワーク ライセンス マネージャーは、サイトで 1 回のみインストールする必要があります。

手順 1. ライセンス ファイルのダウンロード

- 1 MathWorks Web サイトのライセンス センターに移動します。指示があった場合は、MathWorks アカウントにサインインします。
- 2 このインストールに使用するネットワーク ライセンスをクリックします。
- 3 [インストールとアクティベーション] タブをクリックし、[サーバーのアクティベーションを実行] をクリックします。
- 4 ネットワーク ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのホスト ID を取得します。
What is a Host ID? How do I find my Host ID in order to activate my license? を参照してください。
- 5 ネットワーク ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのオペレーティング システムのタイプとホスト ID を指定します。オプションで、アクティベーションに説明ラベルを割り当てることもできます。[続行] をクリックします。
- 6 [ソフトウェアはインストールされていますか?] に [いいえ] と回答して、[続行] をクリックします。
- 7 [ライセンス ファイルをダウンロード] または [ライセンス ファイルを電子メールで送信] を選択します。

いずれのオプションを選択した場合でも、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールするサーバーにライセンス ファイルを必ず保存してください。

[続行] をクリックします。

このワークフローでは、ライセンス センターの手順 2 と手順 3 をスキップし、引き続きここに示す手順に従うことができます。

手順 2. 製品インストーラーのダウンロードと起動

- 1 MathWorks Web サイトのダウンロード ページから MathWorks 製品のインストーラーをダウンロードします。

Web サイトでインストーラーを選択すると、ライセンス マネージャー ファイルではなく、選択したプラットフォームでインストーラーを実行するために必要なファイルが渡されます。インストール時に、インストーラーが必要なファイルを MathWorks からダウンロードします。

- 2 インストーラーを起動します。

- Windows システム

MathWorks Web サイトでインストーラーを選択し、[実行] をクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。インストーラーを保存した場合は、保存先のフォルダーにある自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。自己解凍形式のインストーラー ファイルの名前は `matlab_release_$ARCH` です。`release` はインストールするリリース (R2020a など) を、`$ARCH` は選択したアーキテクチャを示します。

解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。

後でインストーラーを再起動するには、`setup.exe` をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。

- ・ macOS システム

MathWorks Web サイトからダウンロードした `dmg` ファイルをダブルクリックします。`InstallForMacOS.app` をダブルクリックします。

- ・ Linux システム

`unzip` コマンドを使用して、MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルからファイルを解凍します。ファイルの解凍後、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

- 3 インストーラーからサインインを指示されたら、[詳細オプション]、[ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールする] をクリックします。

手順 3. ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して [次へ] をクリックします。

メモ インストール後に適宜エンド ユーザー ライセンス許諾書を表示するには、MATLAB コマンド ウィンドウで次のコマンドを実行します。

```
edit( fullfile(matlabroot, 'license_agreement.txt') )
```

手順 4. ライセンス ファイルの選択

手順 1 でダウンロードしたライセンス ファイルの名前とパスを入力します。[次へ] をクリックします。

ライセンスに含まれるホスト ID をインストーラーが見つけない場合、インストール完了後にホスト ID を手動で追加するよう指示するメッセージが表示されます。

手順 5. 保存先フォルダーの選択

保存先フォルダーは、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールする場所です。既定のインストール フォルダーをそのまま使用するか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

保存先フォルダーは絶対パスでなければなりません。MathWorks では、ネットワーク ライセンス マネージャーを専用のフォルダーにインストールすることを推奨します。ドライブの最上位を選択した場合、選択内容を確認するように求められます。

フォルダー名を指定するときには、次の条件があります。

- ・ 任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。
- ・ 英語以外の文字は使用できません。
- ・ フォルダー名に無効な文字を含めることはできません。また、保存先の名前を“private”にすることはできません。

フォルダー名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定値に戻す] をクリックします。

手順 6. オプションの選択 (Windows システムのみ)

ネットワーク ライセンス マネージャー サービスを設定することにより、システム起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動し、Windows の [サービス] コントロール パネルでライセンス マネージャーを一元管理できます。システム起動時にライセンス マネージャーを自動的に起動する場合は、[サービスとして構成] チェック ボックスをオンにします。

ネットワーク ライセンス マネージャーの既定の設定を確認するには、[既定の設定の表示] をクリックします。ネットワーク ライセンス マネージャー サービスを設定しないことを選択した場合は、後から設定できます。

メモ 新しいネットワーク ライセンス マネージャーをインストールするまで既存のネットワーク ライセンス マネージャーを継続して使用する場合は、[サービスとして構成] チェックボックスをオンにしないでください。この場合でも、インストーラーによりネットワーク ライセンス マネージャー ファイルがインストールされます。インストールが完了したら、既存のライセンス マネージャーを停止して、新しいライセンス マネージャーを起動できます。

手順 7. 選択内容の確認とインストール

インストールの選択内容のまとめを確認します。設定を変更するには、ナビゲーション バーのトピックをクリックします。インストールを続行するには、[インストールの開始] をクリックします。

インストールが完了したら、構成を完了するために必要な追加の手順が表示されるかどうかを確認し、[閉じる] をクリックします。追加の手順が必要な場合は、クライアント マシンに MATLAB をインストールして実行する前に完了しておきます。

参考

関連する例

- ・ 「ネットワーク ライセンス マネージャーのインストールと構成の計画」 (p. 2-2)

ネットワーク ライセンス マネージャー ソフトウェアの更新

サーバーに既にインストールされ、構成されているネットワーク ライセンス マネージャー ソフトウェアを更新するには、ここに示す手順に従って、最新のライセンス マネージャーのバイナリをダウンロードし、サーバー上の既存のバイナリ ファイルを置き換えます。これらのファイルを置き換えるには、ライセンス マネージャーを停止して再起動する必要があります。

あるいは、対話型インストーラーを使用してライセンス マネージャーの新規インストールを実行するには、既存のライセンス マネージャーを停止し、代わりに「ライセンス サーバーへのライセンス マネージャーのインストール」の手順に従います。

最新のライセンス マネージャー ソフトウェアのダウンロード

License Manager Download ページから、ライセンス サーバーのプラットフォーム用のライセンス マネージャーの ZIP ファイルをダウンロードします。

ダウンロードしたファイルを解凍し、抽出したフォルダーをサーバー上の一時的な場所に保存します。解凍されたフォルダーの `etc/<arch>` サブフォルダーには、次のバイナリ ファイルが含まれています。

- ・ `lmgrd`
- ・ `MLM`
- ・ `lmutil`
- ・ `lmtools` (Windows のみ)
- ・ `ParallelServerLicenseCheck`

Linux では、解凍したフォルダーに別のサブフォルダー `sys` が含まれ、このサブフォルダーには置き換える必要のあるソフトウェア ライブラリが含まれています。

ライセンス マネージャーの停止

プラットフォームの手順に従って、ネットワーク ライセンス マネージャーを停止します。

- ・ Windows - `<lmroot>\etc\win64\lmtools.exe` にある `LMTTOOLS` 実行ファイルをダブルクリックします。ここで、`<lmroot>` はライセンス マネージャー フォルダーへの絶対パスです。次に、`LMTTOOLS` アプリケーションの `[Start/Stop/Reread]` タブで、`[Stop Server]` をクリックします。
- ・ Linux および Mac - コマンドラインで、ライセンス マネージャー フォルダーの `etc/<arch>` サブフォルダーから以下のコマンドを実行します。ここで、`<arch>` はライセンス サーバーのプラットフォーム アーキテクチャです。

```
./lmutil lmdown -c <licenseFile>
```

`<licenseFile>` は、`license.lic` や `license.dat` などのサーバー ライセンス ファイルへのパスです。

既存のライセンス マネージャーのバイナリの置き換え

ライセンス マネージャー フォルダーの `<lmroot>/etc/<arch>` サブフォルダーで、既存のバイナリ ファイルをダウンロードしたバイナリ ファイルに置き換えます。Linux では、既存の `sys` フォルダーを、ダウンロードした `sys` フォルダーに置き換えます。

ヒント: ライセンス サーバーが使用するライセンス ファイルも更新する場合は、この時点で置き換えてください。ライセンス ファイルの更新の詳細については、「ネットワーク ライセンス ファイルの更新」を参照してください。

ライセンス マネージャーの再起動

プラットフォームの手順に従って、ネットワーク ライセンス マネージャーを再起動します。

- ・ Windows – <lmroot>\etc\win64\lmttools.exe にある LMTTOOLS 実行ファイルをダブルクリックします。ここで、<lmroot> はライセンス マネージャー フォルダへの絶対パスです。次に、LMTTOOLS アプリケーションの [Start/Stop/Reread] タブで、[Start Server] をクリックします。
- ・ Linux および Mac – コマンド ラインで、ライセンス マネージャーの <lmroot>/etc/<arch> サブフォルダから以下のコマンドを実行します。

```
./lmgrd -c <licenseFile> -l +<logFile>
```

- ・ <licenseFile> は、license.lic や license.dat などのサーバー ライセンス ファイルへのパスです。
- ・ +<logFile> は、ライセンス マネージャー ログ ファイルへの絶対パスです。ログ ファイル パスの直前にプラス記号 (+) を含めます。このシンボルは、ファイルにログを追加するようにライセンス マネージャーに指示し、ライセンス マネージャーが再起動した際に新しいログ ファイルを作成せず、既存のログ ファイルも上書きしないようにします。

参考

関連する例

- ・ 「ネットワーク ライセンス マネージャーの監視」
- ・ 「ネットワーク ライセンス ファイルの更新または変更」

